

令和2年（2020年）12月14日

甲賀市長 岩永 裕貴 様

甲賀市総合計画審議会
会長 田畠 泉

第2次甲賀市総合計画（第2期基本計画）（案）について（答申）

令和2年(2020年)4月24日付甲政推第45号により本審議会に諮問された「第2次甲賀市総合計画(第2期基本計画)の策定」について、別冊「第2次甲賀市総合計画(第2期基本計画)（案）答申書」とおり答申します。

社会の成熟化が進むなか、これまでのモノやお金に依存する価値観はゆるやかに薄れ、多様化しつつあります。そのようななか、新型コロナウイルス感染症による世界的な危機は、社会・経済情勢に大きなインパクトを与え、「いつもの暮らし」の大切さを再認識することとなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による議論の機会や時間が十分にとれないなかではありましたが、先行きが見えない今だからこそ、これから約4年間で進むべき方向性を示すため、市民意識調査や市議会のご意見もお伺いしながら、取りまとめたものです。

「第2次甲賀市総合計画(第2期基本計画)」の策定に際しては、本答申の趣旨を十分に尊重され、「あい甲賀 いつもの暮らしに「しあわせ」を感じるまち」の実現に向けて最善を尽くされるとともに、アフターコロナにおける社会情勢の変化に対応するため、柔軟に計画を運用されるよう要望します。

1. 策定経緯

令和2年 4月24日 (第1回) 総合計画審議会 ※書面開催
議題：諮問、策定方針、市民意識調査の設問

新型コロナウイルス感染症の影響により策定手続を9月末まで一時休止

- 10月23日 総務常任委員会
28日 (第2回) 総合計画審議会 ※オンラインと対面の併用
議題：市民意識調査の結果、論点データ集、
「新しい豊かさ」について議論
- 11月11日 総務常任委員会
13日 (第3回) 総合計画審議会
議題：第2期基本計画（分野別の施策）
- 17日 産業建設常任委員会
18日 厚生文教常任委員会
24日 総務常任委員会（各委員会の意見取りまとめ）
- 12月14日 (第4回) 総合計画審議会
議題：第2期基本計画（分野別の施策）
答申
- 17日 総務常任委員会
- 令和3年 1月 1日～ パブリック・コメント
- 19日 厚生文教常任委員会
20日 産業建設常任委員会
21日 総務常任委員会
- 2月 3日 (第5回) 総合計画審議会
議題：パブリック・コメントの結果報告
- 5日 総務常任委員会
18日 議会提案

2. 総合計画審議会における意見（概要）

（1）「新しい豊かさ」について

- 派手さはなくとも、日常の暮らしを大切にし、持続可能性を重視した政策への方向転換を図るべき。
- コロナ禍で本当に困窮している人が顕在化した。誰ひとり取り残さない「アウトリーチ」による取組が重要である。
- 臨時給付金など一時的な支援はあったが、経済的な冷え込みは先行きが見通せない。特に事業者の不安が続いている。
- 外国人市民は、リーマンショック時と比べて、日本語や行政の生活支援制度を理解している方が増えた印象がある。これまでの多文化共生の取組の成果ともいえる。
- 空き家を活用した「みんなの居場所」づくりを積極的に進めるべき。
- リモートワークへの機運が高まり、地方への移住やU I Jターンへのニーズが加速した。この好機を活かして、移住定住施策を推進するべき。
- コロナ禍において、特に正確でスピード感のある情報提供に不安を感じた。誰もが容易に情報を得ることができる仕組みづくりが急務である。
- コロナ禍で外遊びの重要性が再認識されており、豊かさを感じる重要な取組になるのではないか。
- 地域内で食品や生活物品を購入するなど、様々な「地産地消」を進めること。
- 難しいかもしれないが、遠隔診療などの「医療の充実」に取り組んでほしい。
- デジタル化できない職種や馴染めない人もいることを忘れないこと。
- 「次世代教育」の取組の前提として、休校による学びの遅れへの対応や特別支援学級への支援を充実させること。

（2）分野別施策（20分野ごとの主な意見）

1. 市民自治

- 行政から自治振興会等への権限移譲（事業、制度、財源）を積極的に進めるべき。

2. 市民共生

- 外国人の親が病院などに通院する際、日本語のわかる子どもを同伴させ、学校を休ませるケースがある。通訳者の配置など相談体制の強化が必要。
- 日本語教室への外国人市民の送迎は依然として課題である。
- 外国人の正規社員が少なく、実習生も入国ができない状況。ものづくり企業の人手不足は顕著であり、今後とも外国人労働者の確保と地域との共生が必要。

3. 男女共同参画

- 子どもたちを見ていると、ジェンダーによる境界は薄くなっている。一定の評価ができる状態になりつつある。

4. シティセールス

- 大学卒業後のUターンを促進するため、就職、起業情報の発信を強化すべき。
- ロケーション誘致はシビック・プライドの醸成につながる。
- 立命館大学との包括連携協定のメリットを地域住民、企業に感じていただくため、学生との交流をさらに進めるべき。

5. 環境・資源・エネルギー

- 太陽光パネルに景観上の課題を感じる。遊休農地や荒廃地への安易な太陽光パネルの設置は控えるべき。規制が必要な時期を迎えているのではないか。
- 太陽光パネルは後年大量の廃棄物を生み出す。一方で脱炭素社会の実現に向けた取組が必要であり、何とか両立できないのか。

6. 歴史・文化財・景観

- 水口岡山城をはじめ、市内には多くの魅力ある歴史資源があるが十分に活用できていない。1つに集中投資できないのか。
- 国道沿いの華美な看板をみると、景観条例の効果に疑問を感じる。実効性のある規制への改正を視野に入れるべき。

7. 生涯学習・文化・スポーツ

- 障がい者スポーツを推進するうえで、「競技者」「指導者」の育成だけでなく、「支援者」を育成する必要がある。

8. 地域福祉

- 高齢者支援は、これまでの「サービスの充実」や「介護予防」だけでなく、一度、要支援、要介護になった人をもう一度自立状態に戻す「自立支援」が重要。
- 障がい者の日常生活用具の購入支援制度の柔軟な運用を希望する。家族などの介護者がいる場合に活用できないケースがあり、本当の意味で「自立」を目的とした支援になっていない。
- 福祉制度全般への行政職員の知識が不足している。様々な制度を「わかりやすく伝えられる」職員の育成に努めてほしい。
- 聴覚障がい者への情報が届きにくい社会となっていないか。手話言語条例の制定に合わせて、手話通訳者の雇用促進などを検討願いたい。
- 公共施設のユニバーサルデザイン化がまだまだ進んでいない。
- ＩＣＴを活用することで、高齢者、障がい者等の日常の暮らしは大きく改善するのではないか。
- 「食品ロス」の削減と「生活困窮者」への支援を充実させてほしい。

9. 保健・医療

- 「食育」は、「学校（教育）現場」で積極的かつ主体的に取り組めるよう、保健サイドから働きかけるべき。
- 「健康づくり」と「スポーツ」の連携による「ヘルスツーリズム」の取組を進めてほしい。
- 子どものロコモティブシンドrome防止に向けた取組を検討願う。
- コロナ禍の外出自粛により認知症患者が増加している。運動機能の低下を防ぐため、オンラインによる健康指導等を導入すること。

10. 住まい・生活

- 空き家バンクへの登録件数が少ない。自治振興会等との連携など、地域住民の力を活かす仕組みへ見直すべき。
- 空き家問題は今後さらに大きな課題となる。行政は縦割りではなく、分野横断で対応するべき。特に若者、女性、子育て世代の居場所としての活用を進めなければならない。

11. 安全・防災

- コロナ禍においても迅速かつ正確な情報共有に課題を感じた。大規模災害時に備えたスピード感のある情報共有の体制整備が急務である。
- 障がい者の特性に合わせた福祉避難所の受け入れ体制が必要である。現在は受け入れできる施設となっておらず、実効性に疑問を感じる。
- 消防団員の担い手が減るなか、支援団員制度の取組はさらに拡げてほしい。

12. 農林畜水産

- 地域ブランドは単なる特産物ではない。「歴史」「伝統」「ストーリー」を重視して発信すべき。
- 都市農村交流による農業体験だけでなく、お試し居住から地域の担い手確保につながる仕組みを構築すべき。

13. 商工観光

- SNS等のデジタルツールを活用し、新しい地域ブランドの発信や、クラウドファンディング等の資金調達を支援すべき。
- コロナ禍における中小企業支援は重視されているが、「中小」以外のいわゆる大企業への支援も重要である。企業が市外へ流出しないためには必要である。

1 4. 活躍・雇用

- 雇用における男女格差はまだまだ解消されていない。さらに女性の活躍をバッカアップする支援体制が求められている。
- コロナ禍でワーク・ライフ・バランスの取り組みが大きく進展した。今後とも引き続き推進してほしい。

1 5. 道路・交通

- 水口地域のコミュニティバスの運行ルートが複雑で乗車意欲が削がれる。利用者が移動しやすい運行ルートやバス表示を検討してほしい。
- 甲南パーキングエリアからインターチェンジへの流出路整備を進めてほしい。

1 6. 都市形成

1 7. 子ども・子育て

- ここ数年で医療費助成などの子育て支援施策は格段に向上した。これらの経過や他市との比較などの「見える化」が重要ではないか。
- 乳幼児から高校生まで対象とした「心身の健やかな成長」の視点が必要である。
- コロナ禍で産後うつが増えており、産後ケアの充実が求められている。
- 子育てサークルやサロン活動への行政の理解がまだ不足している。財政的支援というよりも、チラシの配布など応援する姿勢を示してほしい。

1 8. 学校教育・青少年

- これまでの日本語初期指導教室だけでなく、外国にルーツをもつ子どもたちへの進路サポート等を充実するべき。
- 空き教室の複合的活用を進めるにあたり、万全の安全体制を整えてほしい。
- 保護者の貧困等に起因する「学校教育外」における教育格差の是正が必要。
- 不登校になった児童生徒への丁寧な支援が必要。

1 9. 行財政

- 高齢者、障がい者、子どもなどが、ＩＣＴを正しく活用できるようなサポート体制（デジタルデバイド対策）が必要である。
- ＩＣＴなどの多様な専門人材を確保するため、積極的な民間人材の活用を進めてほしい。

2 0. 新型コロナウイルス感染症

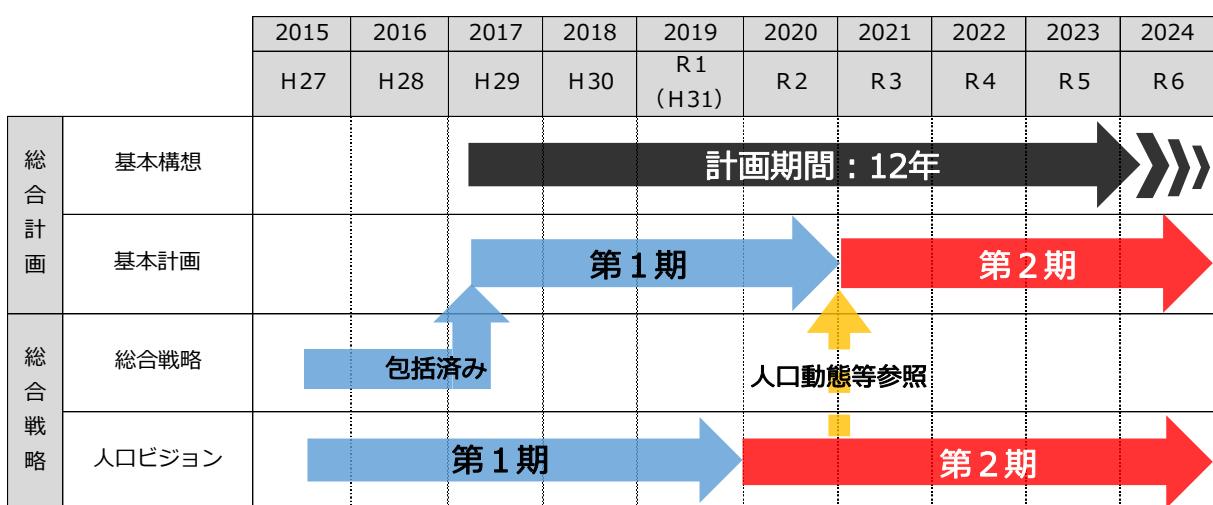
- 感染による人権侵害への対応を重視すること。

第2次甲賀市総合計画

(第2期基本計画) (案)

オール甲賀で未来につなぐ チャレンジプロジェクト2.0

令和2年12月14日



1. 基本計画の位置づけと機能

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛に	あなたも仲間
いろどる山河と	生きいき文化
こぼれる笑顔に	応える安心
うみだす活力	受けつぐ伝統
かがやく未来に	鹿深の夢を

甲賀市まちづくり基本条例

目指すまちの姿

市民、議会及び市長等は、まちづくりの担い手として、自ら輝く未来のために次に掲げる本市のあるべき姿を考え、その実現に向けて行動します。

- (1) 誰もが等しく個人として尊厳及び権利が守られるまち
- (2) それぞれの地域の特性を生かしながら、時代の変化に対応できる活力のあるまち
- (3) 誰もが地域で社会生活を営み、互いに支え合って安心して暮らすことができる福祉のいきとどいた住みよいまち

第2次甲賀市総合計画は、「甲賀市市民憲章」や「甲賀市まちづくり基本条例」が目指すまちの姿をうけ、基本構想において私たちが共に展望する「未来像」を掲げています。

12年を期間とする基本構想を踏まえて、4年を1期とする基本計画において、その「未来像」に向かうための施策の方向性を示します。

基本計画では、市民憲章の理念を「施策の体系」の柱とし、計画の全体像を示すとともに、4年間の集中的に取り組む施策を掲げています。「分野別の施策」では、各分野で私たちが望む「市民像」「目標像」及び「成果指標」を掲げて、具体的に取り組む内容を示しています。

第2次甲賀市総合計画基本構想

未来像

あい甲賀 いつもの暮らしに
「しあわせ」を感じるまち

第2次甲賀市総合計画 基本計画

まちづくりの各分野における施策の展開を、体系立てて整理しています。分野ごとの計画期末に望む姿を示しています。

市民像（魅力的な市民の姿）

目標像（まちや人の姿）

成果指標（達成を測るものさし）

〈分野別計画〉

- 新市建設計画
- 行政改革大綱
- 地域福祉計画
- 都市計画マスタートップラン
- 教育大綱 など

※基本計画は甲賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略を包括しています。

各分野別計画

2. 行政経営の方針

(1) 特に注力すべき分野

- 特1. 徹底的な行政改革による持続可能な自治体経営
- 特2. 市民、事業者等に寄り添う、きめ細かな新型コロナウイルス対策

(2) 分野横断の基本的姿勢

①市民の力を活かす

- ア. 市民やN P O、民間事業者の力を最大限に引き出すため、事業のアウトソーシングや民営化を進めるとともに、短期では成果に結びつかずとも、官民双方の協力により切磋琢磨を積み重ねるなかで、成果を生み出します。
- イ. 市内一律ではなく、地域性・多様性を活かした自治振興会、市民活動団体等の取り組みを応援し、多様な市民自治への分権を進めます。
- ウ. 地域における暮らしの課題（移動、買い物、医療など）をビジネス的手法で解決する「ソーシャル・ビジネス」への支援を充実させます。

②仕組みを変える

- ア. Society5. 0を見据え、未来技術を活用した地域課題の解決を図るため、スマートシティの実現に取り組みます。
- イ. 不便、過剰な規制や複雑な仕組みが民間投資やイノベーションを阻害し、市民の利益を損なっていることから、眞の公益性を見つめ直すとともに、原則、自由型（オプトアウト型、問題発生時に規制、禁止）の行政経営へと思考を転換します。
- ウ. バックキャスト（未来起点）による政策立案を進めるため、政策形成過程における市民、議会との議論や、専門人材の参画を進めます。
- エ. 全国に向けて「まちの魅力」を売り込み、市民、企業から「選ばれるまち」となることで、「稼ぐ力」による持続可能性を高めます。

③人を育て、人をつくる

- ア. 地域経済を牽引するものづくり企業や、福祉・介護分野における人材を育てます。
- イ. 市内の中小企業、地場産業、農林業における担い手づくりに取り組みます。
- ウ. 外国人人材がその能力を最大限に發揮し、地域における新たな担い手として定着できるよう、積極的な受け入れ体制の構築や共生支援を進めます。

④いつもの暮らしを守る

- ア. 鉄道やコミュニティバス、予約型乗合タクシー、地域自主運行などによる公共交通機関の利便性向上と、これらのベストミックスによる最適化に取り組みます。
- イ. 大規模な地震災害や、これまでに経験したことのない異常気象による水害・土砂災害に備え、国土強靭化を進めるとともに、新たな感染症対策に取り組みます。
- ウ. 多様な価値観、多様な生き方・働き方など「新しいライフスタイルの実現」に向けて、地域住民、企業等とともに取り組みます。

⑤地域共生社会を築く

- ア. 介護や障がい、子育て、生活困窮など、制度の狭間で課題を抱える市民を誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現します。
- イ. 人生100年時代を見据えた健康寿命の延伸に取り組むとともに、女性や高齢者、障がい者などの「全世代活躍」を推進します。
- ウ. SDGsの理念とともに、経済・社会・環境の調和を図ります。

3. 分野別の施策（7つのチャレンジ & 20分野の施策）

7つのチャレンジ		番号	分野	施策
1 誰もが主役となり、持続可能なまちとなる	1	市民自治	①自治振興会活動の促進 ②市民活動ネットワークの促進	
	2	市民共生	①人権教育、啓発の推進 ②多文化共生の推進 ③人権に関する相談、支援の充実	
	3	男女共同参画	①男女共同参画社会づくりの推進	
	4	シティセールス	①シティセールスの展開 ②広報力・情報発信の強化	
2 人と文化を未来につなぐ	5	環境・資源・エネルギー	①自然環境の保護、活用 ②生活環境の保全 ③資源、エネルギーの有効活用の推進 ④廃棄物の適正処理	
	6	歴史・文化財・景観	①文化財等の調査と保護 ②文化財等の活用 ③景観の保全と創造	
	7	生涯学習・文化・スポーツ	①生涯学習環境の充実 ②文化、芸術の振興 ③スポーツの振興	
3 住み慣れた地域での暮らしを守る	8	地域福祉	①長寿、生きがいづくり ②障がい福祉の充実 ③地域共生社会の実現 ④セーフティネットの充実	
	9	保健・医療	①健康寿命の延伸 ②疾病予防、早期対策の推進 ③地域医療体制の確保 ④保険制度の適正運用	
	10	住まい・生活	①良質な住宅資産の形成と活用 ②公営住宅の整備、維持管理 ③上下水道事業の健全運営 ④公園の整備、維持管理	
	11	安全・防災	①安全、安心対策の強化 ②地域防災体制、基盤の強化 ③消防体制、基盤の充実 ④治水、砂防の推進	

7つのチャレンジ		番号	分野	施策
4 地域の「稼ぐ力」を高める	1 2	農林畜水産	①農畜水産業の安定経営の確保 ②地域ブランドの展開 ③林業の振興 ④鳥獣害対策の推進	
	1 3	商工観光	①商業の振興 ②地場産業の振興 ③工業の振興 ④観光資源の活用と観光客の誘致	
	1 4	活躍・雇用	①起業、就労支援の促進 ②女性の活躍 ③ワーク・ライフ・バランスの推進	
	1 5	道路・交通	①広域幹線道路の活用促進 ②市道（幹線道路網）の整備 ③生活道路等の整備と維持管理 ④地域公共交通の維持と利便性向上 ⑤鉄道利用環境の改善・整備	
	1 6	都市形成	①拠点を形成する市街地の整備 ②土地利用の誘導	
5 結婚、出産、育児の希望に応える	1 7	子ども・子育て	①産前産後、乳幼児期の安心の確保 ②就学前教育、保育の充実 ③放課後の児童対策の充実 ④地域の子育て力の向上	
	1 8	学校教育・青少年	①学校教育の充実 ②教育環境の充実 ③青少年の健全育成	
6 徹底的な行政改革による持続可能な自治体経営	1 9	行財政	①職員力の向上 ②行政サービスの効率化 ③公共資産マネジメント ④持続可能な財政運営	
7 市民、事業者等に寄り添う、きめ細かな新型コロナウイルス対策	2 0	新型コロナウィルス対策	①市民の生命、健康、安全の確保 ②地域経済の復興	

4. チャレンジ目標

アフターコロナにおける「新しい豊かさ」によるまちづくり

社会の成熟化が進むなか、これまでのモノやお金に依存する価値観はゆるやかに薄れ、多様化しつつあります。そのようななか、新型コロナウイルス感染症による世界的な危機は、社会・経済情勢に大きなインパクトを与え、「いつもの暮らし」の大切さを再認識することとなりました。

そして、少子高齢化、多国籍化、働き方の多様化が進むなか、社会を一面的に捉えたこれまでの「仕組み」では、行政の根幹的な責務である「市民の生活を安定的に継続させながら、生命・財産（経済活動）を守ること」の難しさも実感しました。

これから約4年間は、アフターコロナにおける「新しい価値観」「新しい生き方」「新しい家族のあり方」を包摂した「新しい豊かさ」を、市民、地域コミュニティ、市民活動団体、民間事業者の皆さんとともに追求します。

新しい「いつもの暮らし」への挑戦です。オール甲賀で一緒に取り組みましょう。

「新しい豊かさ」を追求する視点

1. 自然と調和のとれたセンスのある景観づくり
2. 「自分らしく」誇りと逞しさ養う次世代教育
3. アフターコロナを見据えた医療体制の充実
4. 誰にも居場所がある支え合いの福祉
5. スマートシティ、スマート自治体による利便性の向上
6. 時代を超えた歴史、文化、芸術に包まれた豊かな暮らし
7. ローカル経済による支え合いと安全な消費づくり
8. 都市部とのアクセスメリットを活かした便利なゆっくり暮らし
9. 若者層が挑戦できるまちづくり
10. 誰もが移動しやすい市内交通ネットワーク環境

※「新しい豊かさ」アイコン



- ①自然との調和、②景観、③シビックプライド、④次世代教育、⑤医療の充実、
⑥みんなの居場所、⑦支え合いの福祉、⑧歴史・文化・芸術のある暮らし、
⑨スマートシティ、⑩スマート自治体、⑪ローカル経済、⑫地産地消、
⑬便利な田舎暮らし、⑭若者の挑戦、⑮交通ネットワーク、⑯民間活力、
⑰帰郷（U I J ターン）、⑱環境

これまで進めてきた20分野の取り組みに
「新しい豊かさ」のエッセンス（切り口）を組み込みます。

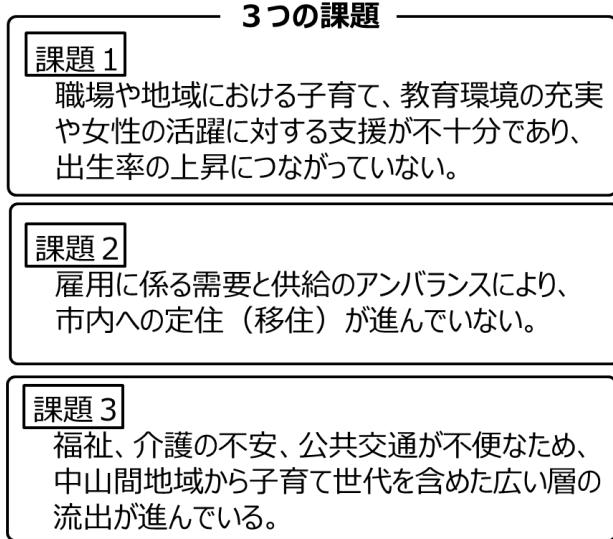
新しい豊かさ

×

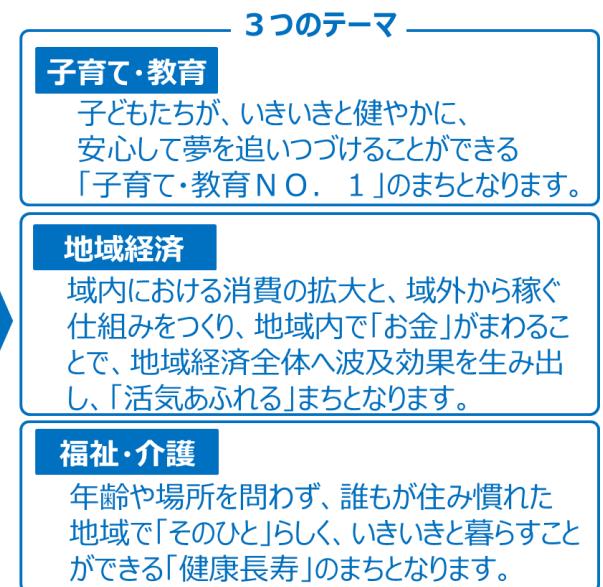
20分野65施策

5. 3つのテーマ

第2次甲賀市総合計画は道半ばであり、未だ課題は解決しておらず、3つのテーマは変えません。ただし、その前提として、アフターコロナを見据えた視点が新たに入ります。



アフターコロナにおける
「新しい豊かさ」によるまちづくり



市民の力を結集！「オール甲賀」のまちづくり

「オール甲賀」とは・・・

市民、地域コミュニティ（自治振興会、区・自治会）、市民活動団体、民間事業者（企業、農業者、金融機関など）の多くの皆さんに協力いただき、市民の活力を最大限に活かすムーブメントのことです。

都市構造

暮らしをつなぎ、地域を未来につなぐ
—多様性を活かしたネットワークづくり—

未来像

あいこなか いつもの暮らしに
“しあわせ”を感じるまち

「行政だけ」でできることには限界がある。

市民一人ひとりがまちづくりの主役
—シビック・プライド—

行政経営の方針

1. 市民自治を追求する
2. 成果主義を追求する
3. 持続可能性を追求する

オール甲賀で未来につなぐ！ チャレンジプロジェクト

子育て・教育 地域経済 福祉・介護

あるもの
活かし

歴史
文化

生業

地域を1つの経営体として捉え
「オール甲賀」で地域づくりを推進

都市
基盤

財源

あるもの
活かし

自治振興会
区・自治会
市民活動団体
など

中小企業・農業者
金融機関
など

地域間連携

政策間連携

官民連携

6. 分野別の施策

1. 市民自治	3 6
2. 市民共生	3 7
3. 男女共同参画	3 8
4. シティセールス	3 9
5. 環境・資源・エネルギー	4 0
6. 歴史・文化財・景観	4 1
7. 生涯学習・文化・スポーツ	4 2
8. 地域福祉	4 3
9. 保健・医療	4 4
10. 住まい・生活	4 5
11. 安全・防災	4 6
12. 農林畜水産	4 7
13. 商工観光	4 8
14. 活躍・雇用	4 9
15. 道路・交通	5 0
16. 都市形成	5 1
17. 子ども・子育て	5 2
18. 学校教育・青少年	5 3
19. 行財政	5 4
20. 新型コロナウイルス感染症	5 5

市民像

イラスト

地域のことは地域のみんなでやるのが当たり前だと思っている。

目標像

自治振興会の活動に多くの市民が参画し、地域のことを地域で決めている。

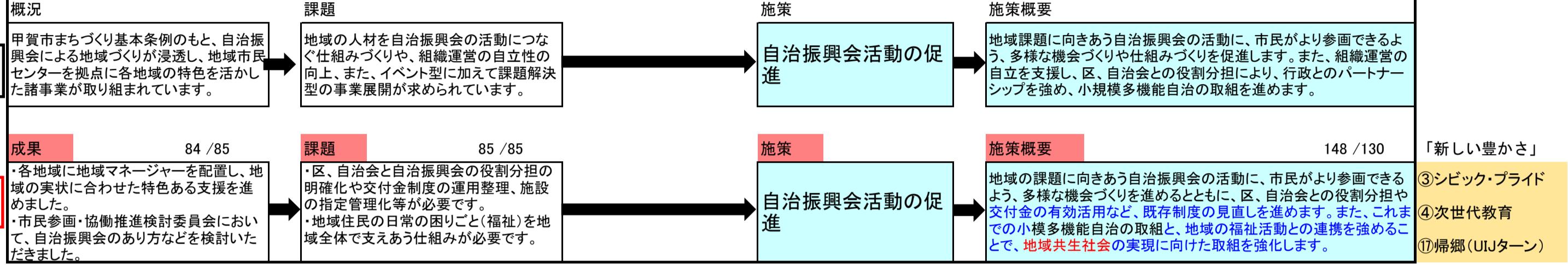
成果指標(単位)

自治振興会活動に参加している市民の割合[市民意識調査](%)

	H29	H30	H31	R2
目標	43.0	45.0	47.0	49.0
実績	43.0	47.9	46.2	

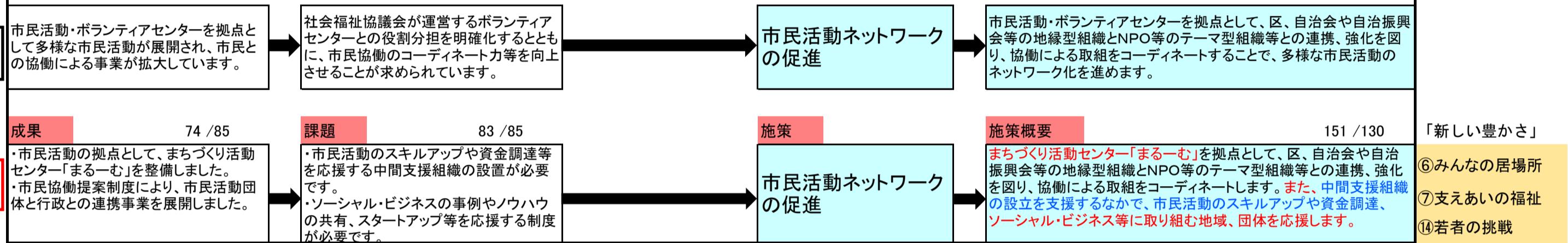
(1) 総務

○政策推進課(市民活動)、福祉医療政策課

第1期
基本計画

(2) 総務

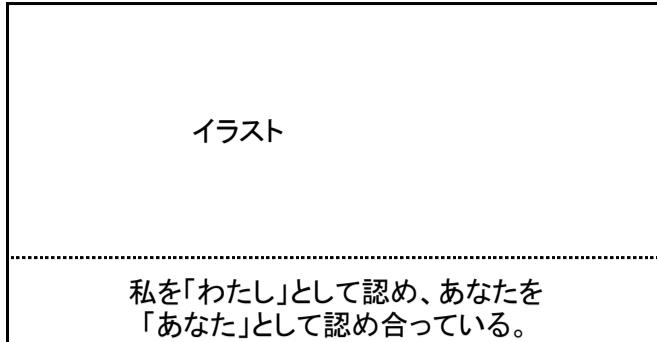
○政策推進課(市民活動)

第1期
基本計画

関連条例、計画等

甲賀市まちづくり基本条例
甲賀市行政改革大綱
甲賀市行政改革推進計画

市民像



目標像

一人ひとりの命が大切にされ、自分のことと相手のことも受け入れる、人権が尊重されるまちになっている。

成果指標(単位)

人権が尊重されるまちだと思っている市民の割合[市民意識調査](%)

	H29	H30	H31	R2
目標	33.6	38.0	40.0	42.0
実績	33.6	31.0	27.3	37.7

① 厚文

○人権推進課

第1期
基本計画

あらゆる差別を無くし、人権意識の高揚を図るとともに、「差別をしない、させない、許さない」世論の形成や人権尊重の社会環境の醸成に取り組んでいます。

成果

85 / 85

インターネット上の差別書き込みやヘイトスピーチ等、社会環境の変化に伴う新たな人権問題への対応が求められています。

課題

89 / 85

成果指標(単位)

人権に関する学習会に参加したことがある人の割合(%)

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	32	34	36	38	40
実績	32	31.0	27.3	37.7	

第2期
基本計画

・個別の人权課題に限らず、多くの课题に包括的に取り組む「こうか市民共生ネットワーク」を構築しました。
・新型コロナウイルス感染症に伴う人権侵害、風評被害への啓発を進めました

・インターネット上の差別書き込みやヘイトスピーチ、感染症等、新たな人権問題への対応が求められています。
・市民ニーズに合わせた、人権尊重のまちづくり懇談会への見直しが必要です。

人権教育、啓発の推進

新たな人権問題への対応を図りつつ、人権に関する教育、啓発から実践までを一体的に取り組むとともに、行政、人権教育推進協議会等の関係団体及び市民活動団体との連携により、市全体としての人権文化の醸成に努めます。

新たな人権問題への対応を図りつつ、教育・啓発から実践までを一体的に取り組むとともに、行政、人権教育推進協議会等の関係団体及び市民活動団体との連携により人権文化の醸成に努めます。また、地域や市民ニーズに合わせた人権尊重のまちづくり懇談会のあり方を検討します。

「新しい豊かさ」
⑥みんなの居場所
⑦支えあいの福祉
⑧歴史・文化・芸術のまちづくり

② 総務

○政策推進課(多文化)

第1期
基本計画

「ユニバーサル・コミュニティ」をテーマとする計画のもと、外国人市民の行政サービスへのアクセス改善や多文化共生・国際理解の推進に取り組んでいます。

成果

66 / 85

外国人市民への広報、行政情報の提供を拡充するとともに、社会参画を促進し、地域人材として活躍できる環境を充実させることが求められています。

課題

70 / 85

成果指標(単位)

日本語学習機会の提供数(教室)

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	3	4	5	6	8
実績	3	4	5	6	8

第2期
基本計画

・母語支援員を配置するとともに、日本語初期指導教室を開設しました。
・SNS等を活用した情報発信に努め、相談体制の充実を図りました。

・外国人市民が「地域を支える生活者」として活躍できるよう支援が必要です。
・外部団体や市内企業と連携を図り、日本語習得などの支援が必要です。

施策

多文化共生の推進

施策概要

外国人市民に対する行政サービスをさらに拡充するとともに、府内関係部局や甲賀市国際交流協会等の外部団体、企業との連携のもと、多様な市民交流の機会づくり等を進め、外国人市民の幅広い地域参画や企業での活躍を促進します。

「新しい豊かさ」
④次世代教育
⑪若者の挑戦
⑯民間活力

③ 厚文

○人権推進課

第1期
基本計画

人権に関する相談に、国、県、関係部局、関係機関、市民の身近な相談先である人権擁護委員等と連携し、人権擁護活動を展開しています。

成果

60 / 85

様々な人権問題に対し、その防止のための啓発や、人権に関して相談しやすい環境の整備、適切な専門相談につなぐ仕組み等が求められています。

課題

95 / 85

成果指標(単位)

人権に関する悩みごとの相談件数(件数)

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	100	120	140	160	180
実績	100	120	140	160	180

第2期
基本計画

・人権に関する相談窓口の周知を図りました。
・市民の身近な相談先である人権擁護委員と連携し人権擁護活動を展開しています。

・LGBTQ、ジェンダー平等など多様化する人権課題への対応が求められています。
・人権相談、男女の悩み事、DV、行政相談、消費生活相談などの市民相談に一元

施策

人権に関する相談、支援の充実

施策概要

人権に関する相談が安心してできる環境を整え、相談窓口をさらに周知するとともに、関係機関相互の連携に努めます。また、様々な場面で人権課題に気づけるよう、職員の資質向上に努めます。

「新しい豊かさ」
⑥みんなの居場所
⑦支えあいの福祉
⑩スマート自治体

関連条例、計画等

甲賀市まちづくり基本条例

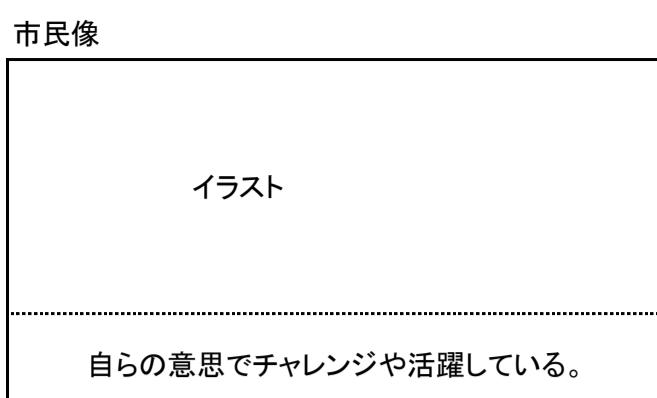
甲賀市多文化共生推進計画

甲賀市人権尊重のまちづくり条例

甲賀市人権に関する総合計画

甲賀市就労支援計画

3 | 男女共同参画



目標像

すべての人が性別にとらわれることなく、自らの意思でチャレンジや活躍ができ、それが認められている。

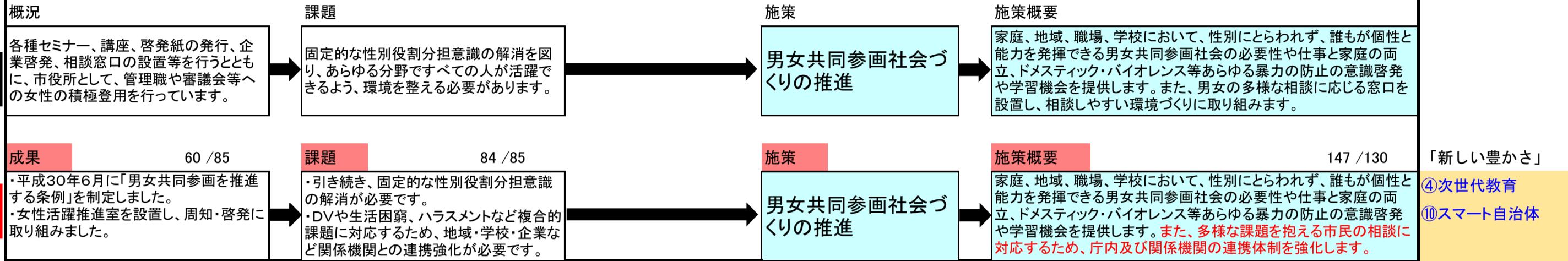
成果指標(単位)

「男性は仕事、女性は家事、育児、介護」という「固定的な性別役割分担意識」に同感しない割合[市民意識調査](%)	H29	H30	H31	R2
目標	48.0	53.5	60.0	60.0
実績	48.0	52.0	53.7	54.4

① 産 建

○人権推進課、商工労政課

第1期
基本計画



関連条例、計画等

甲賀市男女共同参画計画(甲賀市女性活躍推進計画)

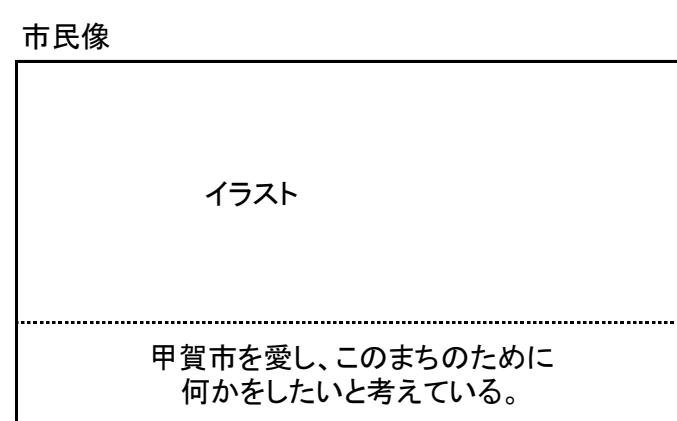
甲賀市配偶者からの暴力の防止および被害者の保護等に関する基本計画

甲賀市人材育成基本方針

甲賀市人権に関する総合計画

甲賀市男女共同参画を推進する条例

甲賀市人権尊重のまちづくり条例



目標像

甲賀市の魅力が情報発信され、「ひと」「もの」「カネ」「情報」等を呼び込み、地域が活性化している。

成果指標(単位)

まちの魅力を自慢できる市民の割合
[市民意識調査](%)

	H29	H30	H31	R2
目標	59.3	60	61	62
実績	59.3	60.6	58.8	64

① 総務

○政策推進課

第1期
基本計画第2期
基本計画

課題

持続可能なまちづくりの一環として、甲賀市への交流人口を呼び込むため、世界に通じる「甲賀流」を活かしたシティセールスを展開しています。

成績

93 / 85

- ・ふるさと納税寄付金額は200万円から1億5千万円となりました。
- ・トップセールスによる日本遺産の認定、立命館大学との包括連携協定、東京オリ・パラのホストタウン認定などに取り組みました。

課題

89 / 85

- ・若者の活躍や交流を進めるため、UIJターン等による移住・定住施策の強化が必要です。
- ・行政と大学・企業との連携をさらに進め、市民、市内企業へのメリットにつなげる必要があります。

成果指標(単位)

ふるさと納税寄付金額(百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	350	400	450	500	550
実績	350	400	450	500	550

施策概要

市民のシビック・プライドを醸成するとともに、都市ブランドを向上させるため、「甲賀流」の取組をさらに進め、多くの人や企業に本市がもつ様々な魅力を売り込みます。

成績

158 / 130

「新しい豊かさ」

- ①自然との調和
- ②歴史・文化・芸術のある暮らし
- ③便利な田舎暮らし

② 総務

○秘書広報課、情報政策課

第1期
基本計画第2期
基本計画

課題

あいコムこうか(CATV)、フェイスブック等の多様なメディアによる広報活動や職員による出前講座等を実施しています。情報公開請求の利用件数は増加しています。

成績

85 / 85

- ・タウンミーティングや市長座談会等による市民との対話や、市民意識調査など広聴機能を充実しました。
- ・広報紙の音訳や、ホームページのアクセシビリティ評価の向上に努めました。

課題

98 / 85

- ・障がい者や外国人、区・自治会等に届かない方、行政への関心が少ない方への情報発信について検討が必要です。
- ・タイムリーかつ効率的に情報を届けるため、新しい情報発信のあり方を検討する必要があります。

成果指標(単位)

ホームページ(総ページ)のアクセス数(回)

	R1	R3	R4	R5	R6
目標	3,167,815	3,200,000	3,225,000	3,250,000	3,275,000
実績	3,167,815	3,200,000	3,225,000	3,250,000	3,275,000

施策概要

情報基盤等の多様な情報媒体を活用、整理し、行政情報のブッシュサービスにより、市内外に情報が広く行きわたるよう広報活動を推進します。また、市民にわかりやすく利用しやすい情報公開制度の運用を図り、市民と行政の情報を共有します。

成績

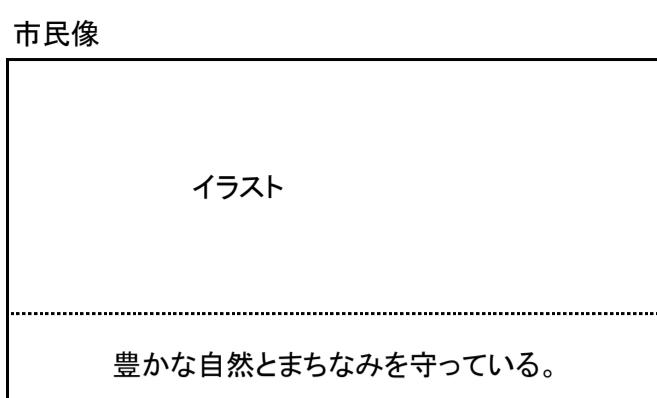
132 / 130

「新しい豊かさ」

- ③シビック・プライド
- ⑦支えあいの福祉
- ⑩帰郷(UIJターン)

関連条例、計画等

--



目標像

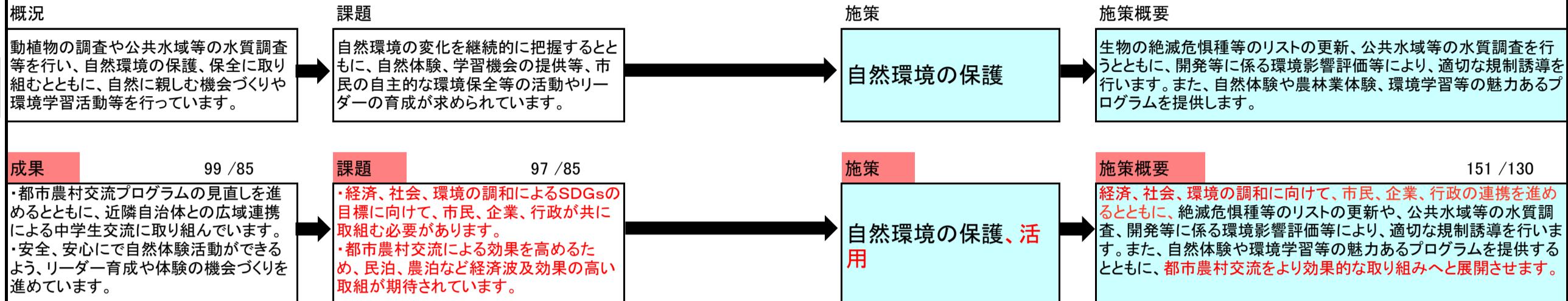
自然に学び、自然を活かし、自然と共に暮らしている。

成果指標(単位)

甲賀市の景観に「満足している」「まあ満足している」と答えた人の割合[市民意識調査](%)	H29	H30	H31	R2
目標	45.9	47.0	48.0	49.0
実績	45.9	42.5	42.1	42.7

① 産 建

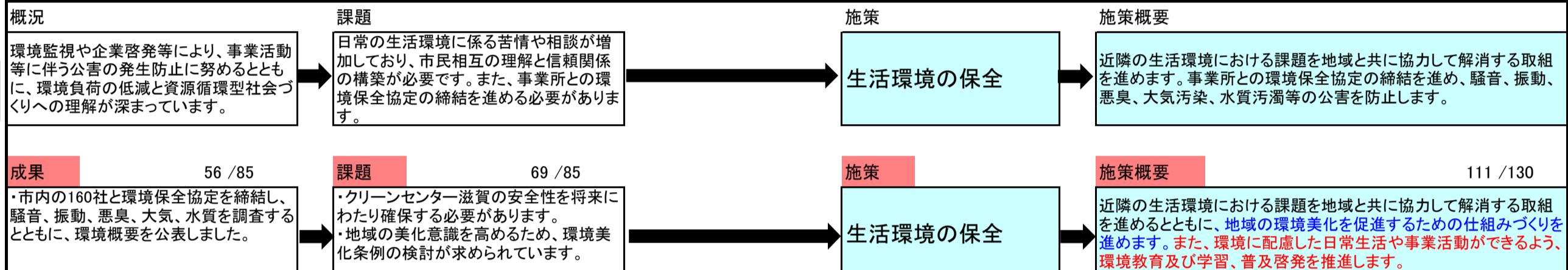
○生活環境課、農業振興課、社会教育スポーツ課

第1期
基本計画

「新しい豊かさ」
 ③シビック・プライド
 ⑪ローカル経済
 ⑫地産地消

② 産 建

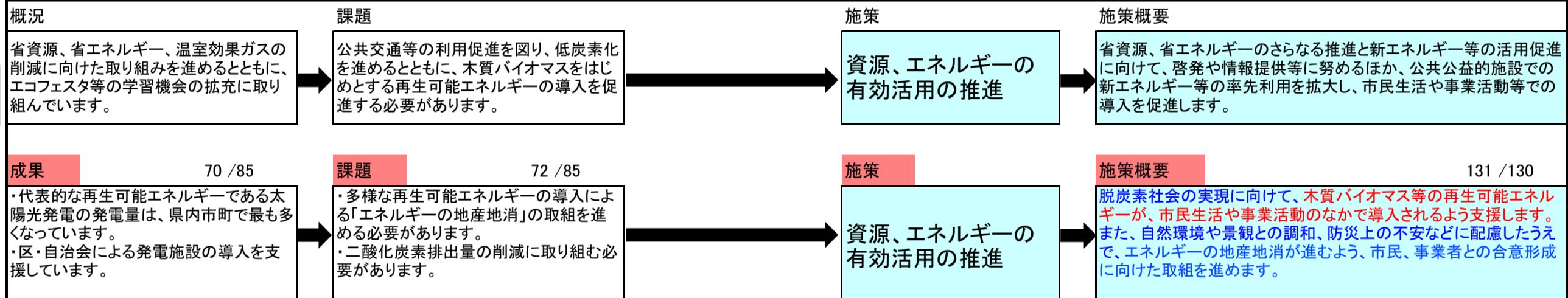
○生活環境課

第1期
基本計画

「新しい豊かさ」
 ④次世代教育
 ⑬便利な田舎暮らし

③ 産 建

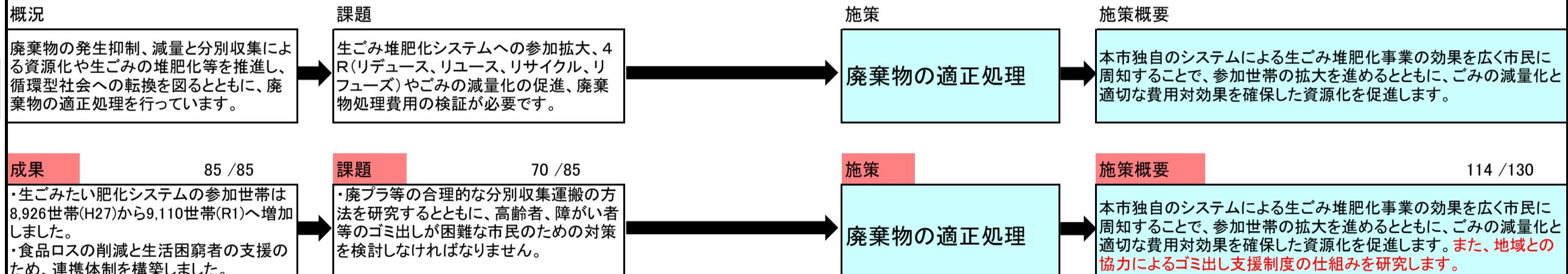
○生活環境課

第1期
基本計画

「新しい豊かさ」
 ⑨スマートシティ
 ⑫地産地消
 ⑯民間活力

④ 産 建

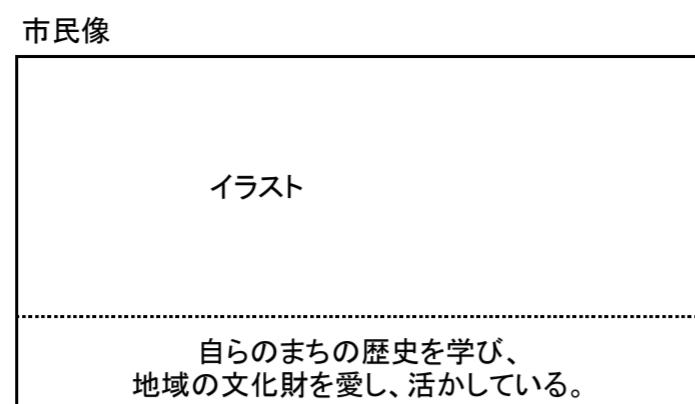
○生活環境課

第1期
基本計画

「新しい豊かさ」
 ④次世代教育
 ⑦支えあいの福祉
 ⑫地産地消

関連条例、計画等

甲賀市環境基本計画	甲賀市文化財保護基本方針
甲賀市環境基本条例	甲賀市森林整備計画
甲賀市一般廃棄物処理基本計画	
甲賀市一般廃棄物処理業等合理化事業計画	
甲賀市地球温暖化対策実行計画	



里地里山の美しい自然や文化財の保存と活用により、地域の魅力が発信されている。

成果指標(単位)

歴史について「重要度が高い」「まあ重要である」と答えた人の割合[市民意識調査](%)

	H29	H30	H31	R2
目標	60.8	62.0	63.0	64.0
実績	60.8	60.9	59.1	57.8

① 厚文

○歴史文化財課

第1期
基本計画

概況
指定文化財をはじめ、有形、無形の未指定文化財や埋蔵文化財等について調査し、歴史的価値の再認識と評価を行い、適切な保全に取り組んでいます。

課題
文化財等の調査を継続的、計画的に実施し、学術的、歴史的評価を定めて、文化財指定による保護措置等を行うことが求められています。

施策
文化財等の調査と保護

施策概要
城跡を始めとする埋蔵文化財の発掘調査や市内にある有形、無形の文化財、伝統文化等の調査を行い、文化財指定による保護措置や記録による保存を行っています。特に重要な文化財については、国、県の指定を目指します。

第2期
基本計画

成果
86 / 85
・文化財保存活用地域計画の文化史認定を受けました。
・水口岡山城の考古学調査を進め国史跡へ指定されました。
・信楽焼の製造技術について、民俗文化財としての調査を進みました。

課題
92 / 85
・地域の伝統芸能や催事について保存や継承の取り組みが必要です。
・史跡の永続的な保護と次世代に適切に引き継ぐための仕組みが必要です。
・文化財の価値を明らかにするための調査が必要です。

施策
文化財等の調査と保護

施策概要
城跡を始めとする埋蔵文化財の発掘調査や市内にある有形、無形の文化財、伝統文化等の調査を行い、文化財指定による保護措置や記録による保存を行います。また、地域ならではの伝統芸能や催事を次世代に適切に引き継ぐための支援を進めるとともに、史跡紫香楽宮跡の保護と地域住民による活用支援に取り組みます。

「新しい豊かさ」

②景観

③シビック・プライド

② 厚文

○歴史文化財課

第1期
基本計画

概況
甲賀市史や歴史民俗資料館での展示等によって、市の文化財等の価値を広く市民に公開するとともに、まちの魅力として発信しています。

課題
調査の成果を地域の資源として活用し、歴史や文化の価値を、広く市民が共有する必要があります。

施策
文化財等の活用

施策概要
地域の歴史に親しみ、みんなで守っていく風土が育つ環境づくりを進めるとともに、協働により文化財を本市独自の歴史文化資源として、まちの魅力発信に活用します。

第2期
基本計画

成果
95 / 85
・日本遺産「忍びの里伊賀・甲賀」「信楽焼」の認定を受けました。
・櫻野寺の大開張を契機として、都市部をはじめ多くの方にその魅力が発信されました。
・多羅尾代官屋敷の環境整備に取り組みました。

課題
90 / 85
・文化財の保存と活用の一貫的な取組が必要です。
・東海道をはじめ、歴史的文化景観の保存や地域住民主体の活用に対する支援が必要です。
・水口岡山城のランドマーク機能の強化が必要です。

施策
文化財等の活用

施策概要
文化財の「保存」と「活用」の一貫的な取組を進めるとともに、東海道周辺の歴史・景観・伝統を守るために取組を支援します。また、地域の歴史に親しみ、みんなで守っていく風土が育つ環境づくりを進めるとともに、文化財を本市独自の歴史文化資源として、市民との協働によりまちの魅力発信に活用します。

「新しい豊かさ」

③シビック・プライド

⑪ローカル経済

⑯民間活力

③ 産建

○農業振興課、都市計画課

第1期
基本計画

概況
美しい自然景観や農村景観、歴史的、文化的景観を保全するため、景観行政団体への移行及び景観計画の策定を行い、建築物の意匠形態や緑化の誘導を行っています。

課題
人口減少や高齢化による耕作放棄地の増加や、歴史的な景観の価値観が地域で共有されないことによる、まちなみの不調和等への対策が求められています。

施策
景観の保全と創造

施策概要
美しい農山村の景観を有する里地里山や歴史的なまちなみ、人々の暮らしや生業から生まれる生活風土等、美しいふるさとの景観を保全します。また、市民や事業者との協力のもと、地域性豊かな景観づくりを進めます。

第2期
基本計画

成果
80 / 85
・中山間地域を中心とした多くの集落の参加のもと、農村景観の保持に努めました。
・景観計画、景観条例、屋外広告物条例に基づき、地域性豊かな景観の保全に努めました。

課題
83 / 85
・旧東海道などの歴史、文化景観の維持が難しくなりつつあります。
・耕作放棄地の拡大や、山林や未利用地における太陽光パネルの整備などに、景観との調和が求められています。

施策
景観の保全と創造

施策概要
美しい農山村の景観を有する里地里山や歴史的なまちなみ、人々の暮らしや生業から生まれる生活風土等、美しいふるさとの景観を保全します。また、市民、事業者等の景観保全への理解を促進するとともに、協力関係を構築することにより、地域性豊かな景観づくりを進めます。

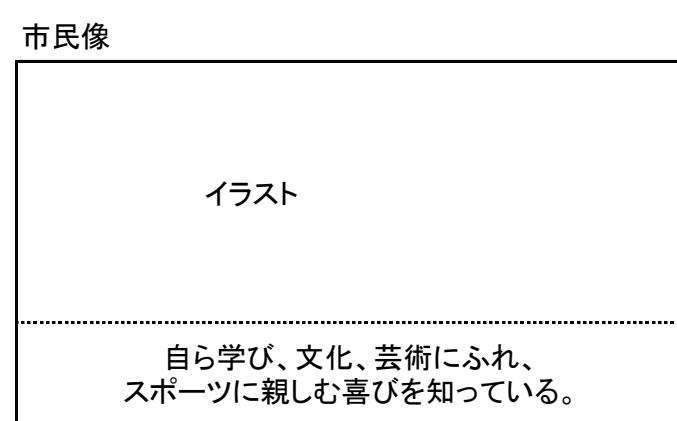
「新しい豊かさ」

⑪ローカル経済

⑬便利な田舎暮らし

関連条例、計画等

甲賀市教育振興基本計画	甲賀市景観条例
甲賀市文化財保護基本方針	甲賀市景観基本計画
甲賀市景観計画	
甲賀市観光振興計画	
甲賀市文化財保存活用地域計画	



目標像

多くの市民が、仲間と共に学び、文化、芸術にふれ、スポーツに親しんでいる。

成果指標(単位)

生涯学習、文化、スポーツに「満足している」「まあ満足している」と答えた人の割合[市民意識調査](%)

	H29	H30	H31	R2
目標	32.0	33.0	34.0	35.0
実績	32.0	32.5	32.2	29.4

成果指標(単位)

夢の学習事業の講座開催数(件)

R2	R3	R4	R5	R6
980	985	990	995	1000

(1) 厚文

○社会教育スポーツ課

概況
市民の高度な学習要求に応え、受講修了者から学習支援者へと転向できるよう、学習成果を活かした社会参画を促進します。また、誰もが利用しやすい図書館を目指しています。

課題
生涯学習の基盤である学校、家庭、地域の連携を強めるとともに、地域づくりの拠点である地域市民センターと公民館の事業の整理が必要です。

施策
生涯学習環境の充実

施策概要
公民館の中央館と地域館の機能分担を図り、コミュニティ活動との協調により、生涯学習と社会教育を一体的に推進します。図書館においては、本に親しむ取組を進めるとともに、より多くの市民が利用できる環境を整えます。

成果
77 / 85
・地域の中学生と高齢者の交流による学びの場として、夢の学習事業に取り組みました。
・より利用しやすい公民館、図書館となるよう利用条件を一部緩和しました。

課題
・社会人のリカレント教育をあらゆる機会で進める必要があります。
・生涯学習とコミュニティ活動の一体的な取組への展開が必要です。
・コロナ禍を踏まえ、図書館の新しいあり方を検討する必要があります。

施策
生涯学習環境の充実

施策概要
公民館のコミュニティセンター化を進めるとともに、生涯学習とコミュニティ活動の一体化を進めます。また、夢の学習や社会人のリカレント教育をあらゆる機会で取り組みます。図書館においては、電子図書等の市民ニーズに合わせた取組を進めるなど、地域づくりの核として多くの市民が利用できるよう環境を整えます。

「新しい豊かさ」
④次世代教育
⑥みんなの居場所
⑦支えあいの福祉

(2) 厚文

○社会教育スポーツ課

概況
文化、芸術活動が自主的かつ活発に行われるよう支援を行い、市民ホールを拠点とし、地域を超えた取組、市民参画による事業を展開しています。

課題
文化団体の安定的な自主運営に向けた支援や、文化芸術活動の担い手不足への対応を行うとともに、老朽化した文化施設の計画的な改修が必要です。

施策
文化、芸術の振興

施策概要
郷土芸能や文化、芸術活動に係る各種団体や後継者の育成と伝承活動や自主的な文化活動を支援するとともに、アール・プリュットの魅力発信や新たな文化、芸術の創造に取り組みます。また、文化施設を有効利用するため、環境づくりに努めます。

成果
84 / 85
・子どもたちが文化・芸術、スポーツの「一流」に触れる「金の卵プロジェクト」を開始しました。
・共生社会ホストタウン事業により障がい者の文化・スポーツの理解が進みました。

課題
・アール・プリュットの魅力を地域振興に結び付けるとともに、文化芸術として発展させ必要があります。
・文化、芸術と産業の融合による信楽焼など、日常の暮らしのなかにある文化、芸術活動を応援します。

施策
文化、芸術の振興

施策概要
文化・芸術活動、郷土芸能等の各種団体や後継者の育成、自主的な創造活動や伝承活動を支援するとともに、アール・プリュットの魅力発信の強化や、これらの文化・芸術が日常の暮らしのなかに根付く取組を進めます。また、文化施設を有効利用するため、環境づくりに努めます。

「新しい豊かさ」
③シビック・プライド
⑪若者の挑戦
⑫帰郷(UJターン)

成果指標(単位)

市内文化ホールの自主企画事業の延べ来場者数(人)

R2	R3	R4	R5	R6
9,500	9,600	9,800	10,000	10,100

(3) 厚文

○社会教育スポーツ課

概況
総合型地域スポーツクラブやスポーツ関係団体等の活動を支援するとともに、スポーツ施設の維持保全、各種スポーツ交流事業の開催等を行っています。

課題
総合型地域スポーツクラブと自治振興会やスポーツ推進委員等との連携により、生涯スポーツの推進を図るとともに、老朽化した施設の改築や修繕が必要です。

施策
スポーツの振興

施策概要
総合型地域スポーツクラブや自治振興会、スポーツ推進委員等との連携を促進し、各地域での生涯スポーツを充実させるとともに、スポーツ協会等と協力して競技スポーツの振興を図ります。また、滋賀県等を見据えた施設整備や人材育成等に取り組みます。

成果
101 / 85
・東京オリ・パラの共生ホストタウンの登録を受けるとともに国スポーツを見据え、障がい者スポーツの推進を実施しました。
・水口体育館の移転新築や施設改修を進めました。
・スポーツ協会の設立を支援しました。

課題
・東京オリ・パラ、国スポーツを見据えたスポーツ振興に取り組むとともに、競技者や指導者育成が必要です。
・文化・体育等の振興を目的とした組織の一元化やヘルスツーリズムの取組が必要です。

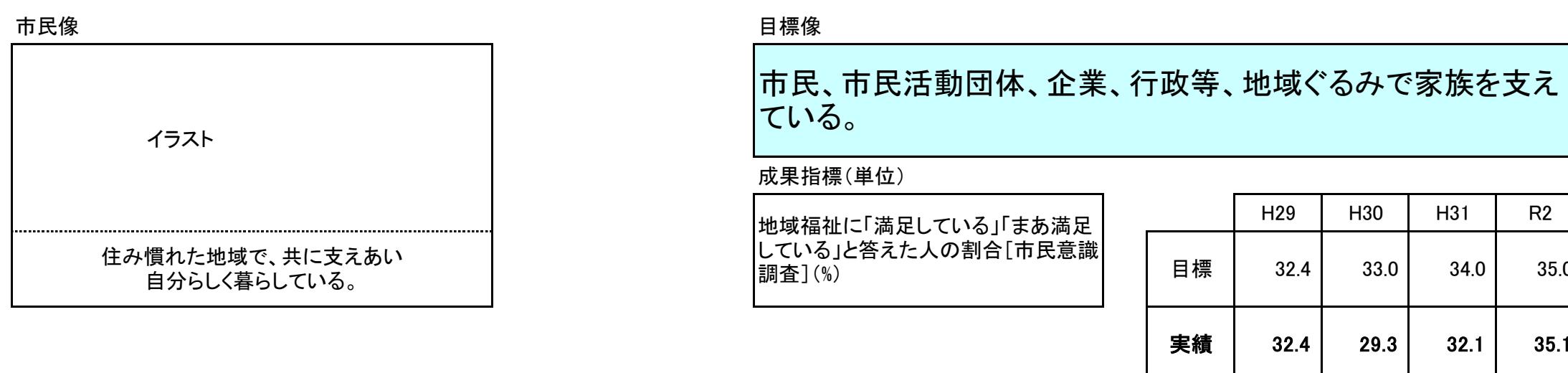
施策
スポーツの振興

施策概要
総合型地域スポーツクラブと自治振興会やスポーツ推進委員等との連携を促進し、各地域での生涯スポーツを充実させるとともに、スポーツ協会等と協力して競技スポーツの振興を図ります。また、東京オリ・パラ、国スポーツを見据えたスポーツ振興に取り組むとともに、競技者や指導者育成を推進します。

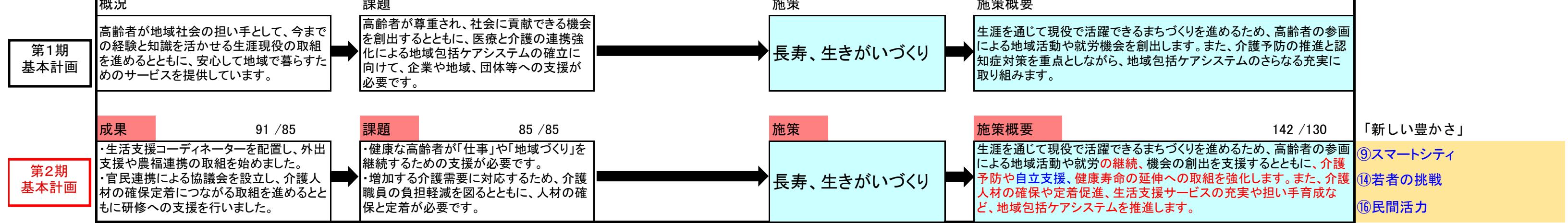
「新しい豊かさ」
⑥みんなの居場所
⑪若者の挑戦
⑯民間活力

関連条例、計画等

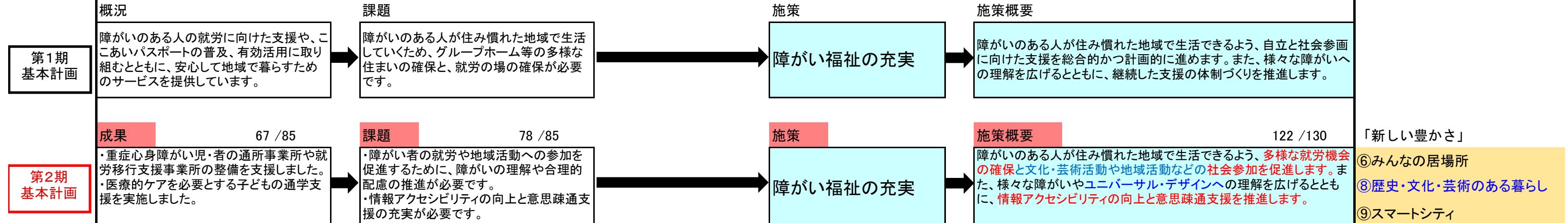
- 甲賀市教育振興基本計画
- 甲賀市子ども読書活動推進計画
- 甲賀市文化のまちづくり計画
- 甲賀市スポーツ推進計画
- 甲賀市図書サービス計画

**① 厚文**

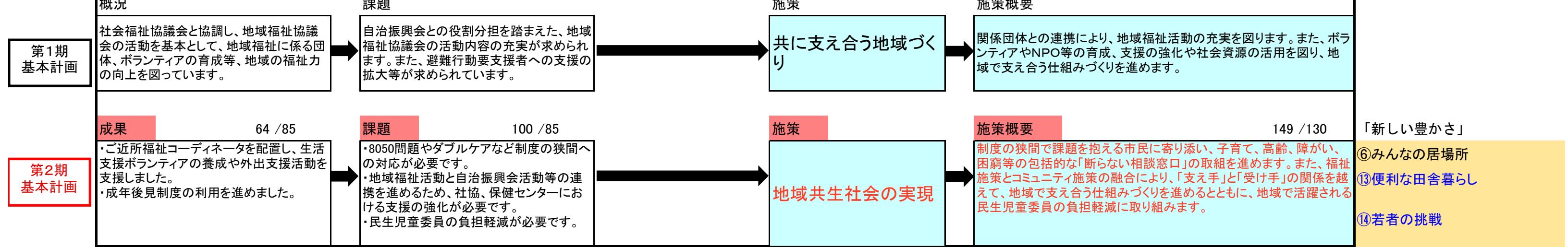
○長寿福祉課

**② 厚文**

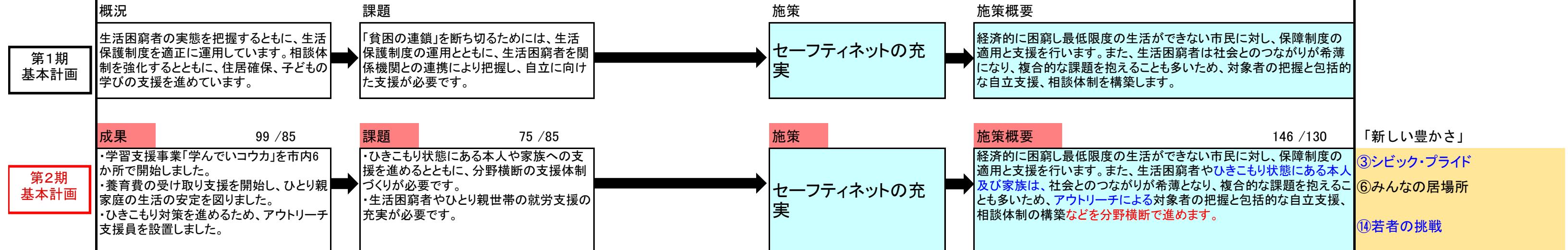
○障がい福祉課、福祉医療政策課

**③ 厚文**

○福祉医療政策課

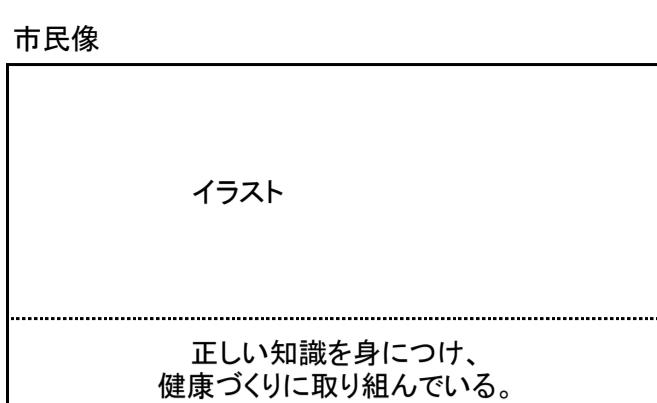
**④ 厚文**

○生活支援課



関連条例、計画等

甲賀市介護保険事業計画・高齢者福祉計画
甲賀市障がい者基本計画・障がい福祉計画
甲賀市地域福祉計画

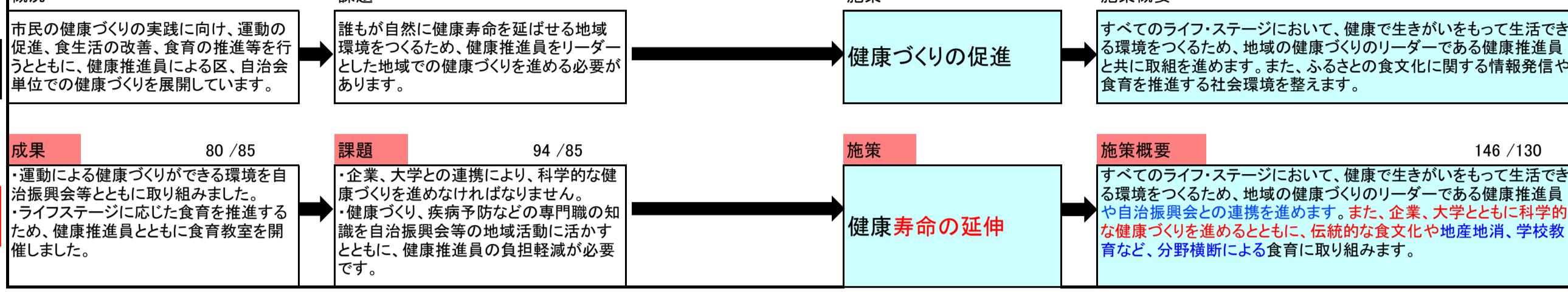


目標像

地域で共に支え合い、生きがいをもって、健康長寿で暮らしている。				
成果指標(単位)				
市民の健康寿命(歳) 上段:男性、下段:女性		H29	H30	H31
目標	男性79.94 女性85.37	男性80.06 女性85.59	男性80.19 女性85.81	男性80.32 女性86.03
実績	男性79.68 女性84.93	男性80.14 女性84.66		
R2				

(1) 厚文

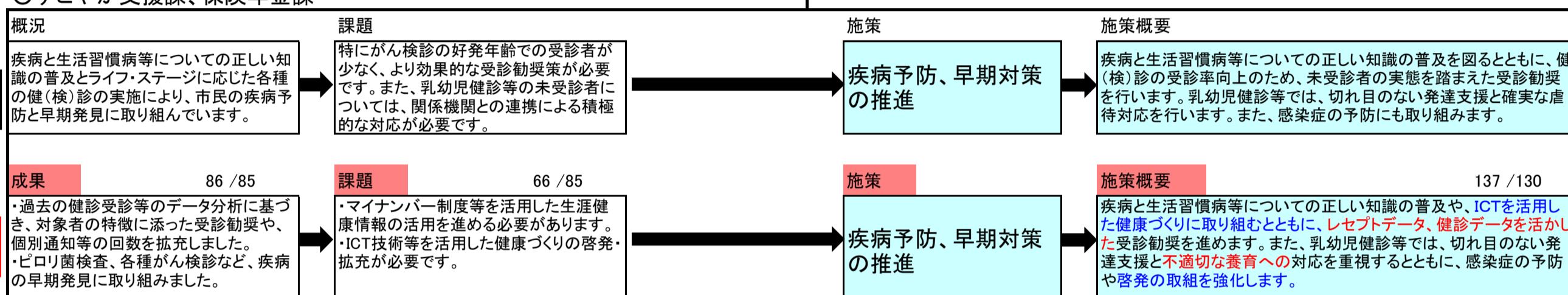
○すこやか支援課

第1期
基本計画第2期
基本計画

- 「新しい豊かさ」
 ⑩スマート自治体
 ⑫地産地消
 ⑯民間活力

(2) 厚文

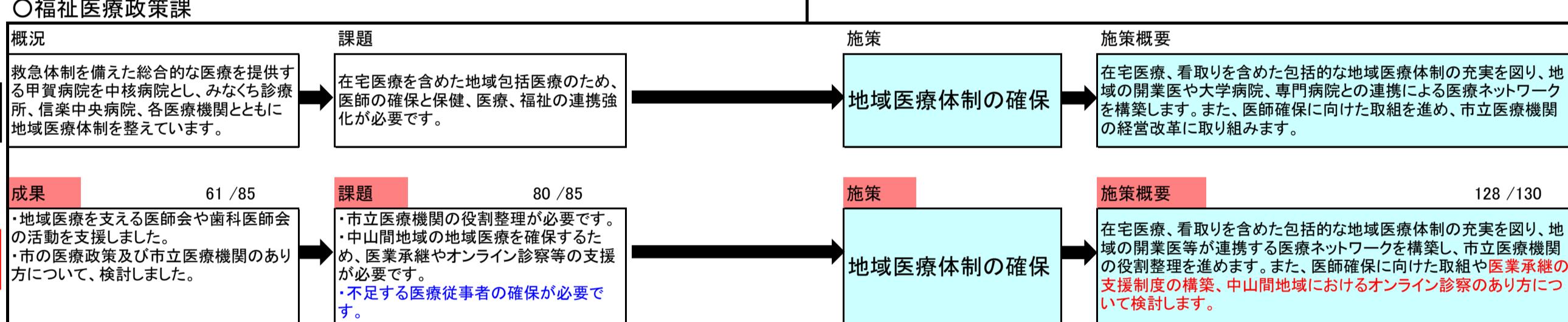
○すこやか支援課、保険年金課

第1期
基本計画第2期
基本計画

- 「新しい豊かさ」
 ⑤医療の充実
 ⑨スマートシティ

(3) 厚文

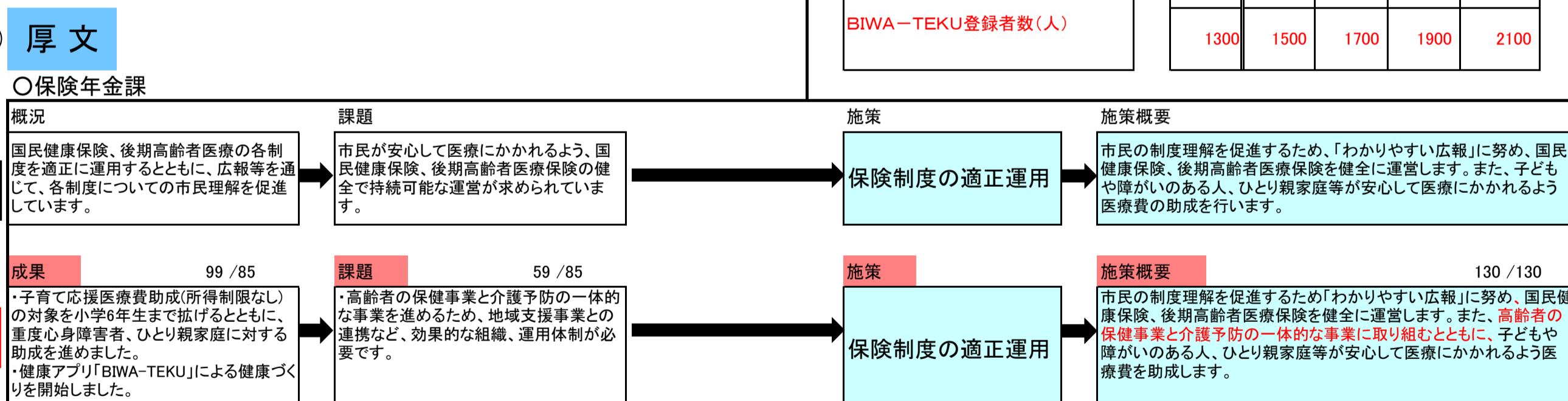
○福祉医療政策課

第1期
基本計画第2期
基本計画

- 「新しい豊かさ」
 ①自然との調和
 ⑨スマートシティ
 ⑯民間活力

(4) 厚文

○保険年金課

第1期
基本計画第2期
基本計画

- 「新しい豊かさ」
 ⑤医療の充実
 ⑦支えあいの福祉
 ⑨スマートシティ

関連条例、計画等

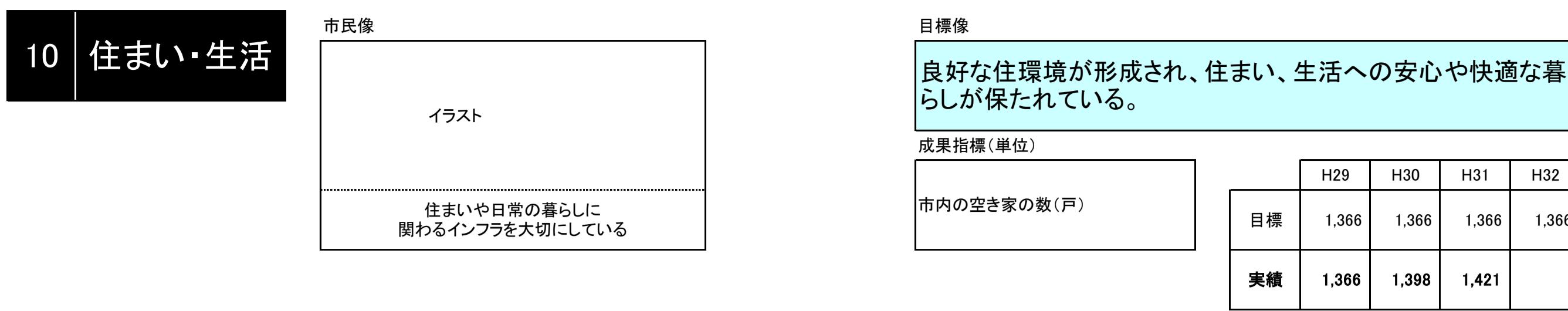
健康こうか21計画(健康増進計画・食育推進計画)

甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画

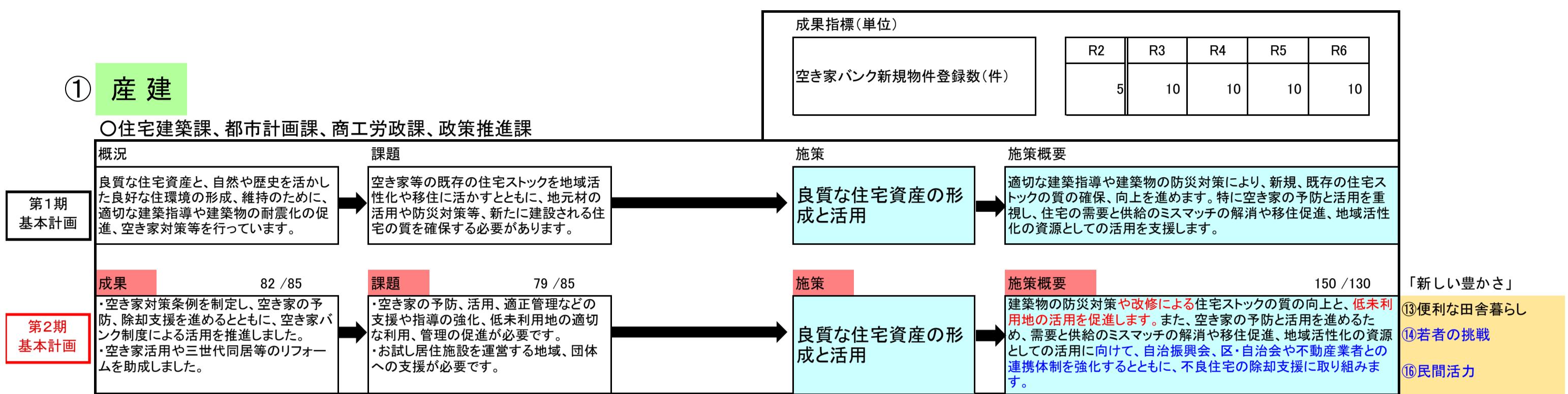
甲賀市国民健康保険事業実施計画(第2期データヘルス計画)(第3期特定健診等実施計画)

甲賀市水口医療介護センター事業中期経営計画

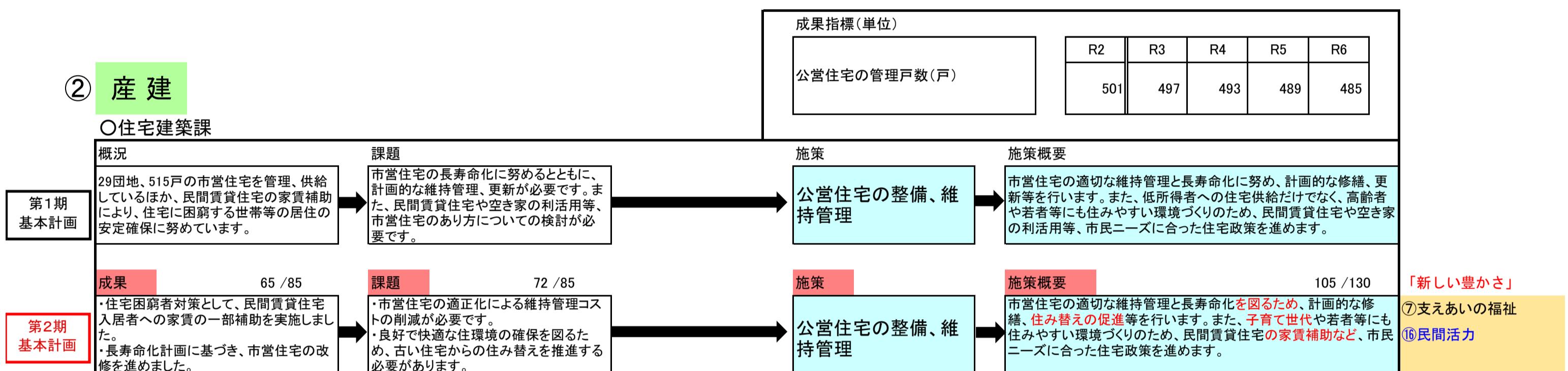
甲賀市立信楽中央病院新改革プラン

**(1) 産建**

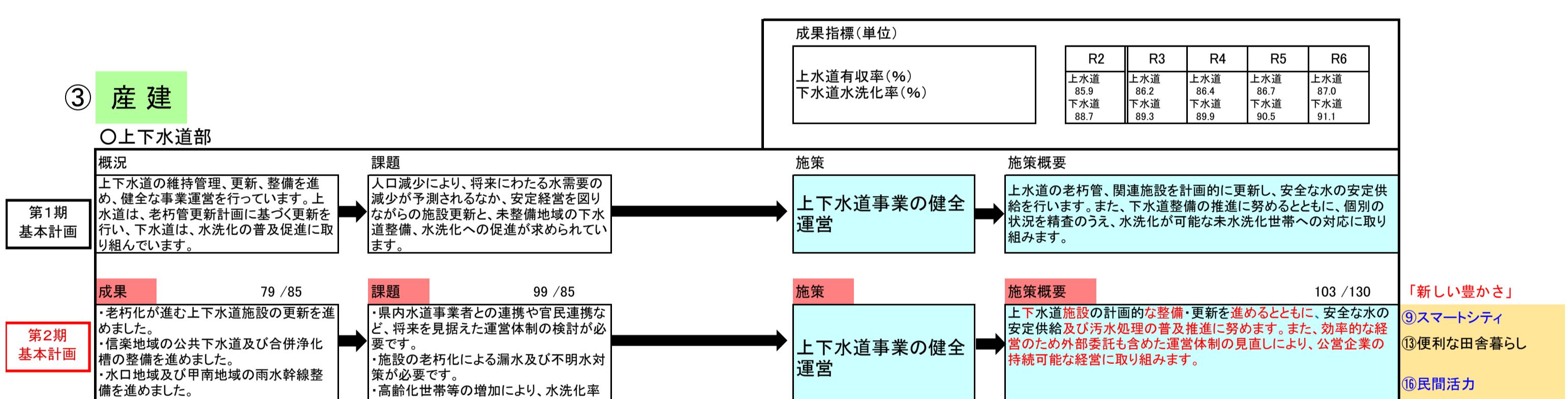
○住宅建築課、都市計画課、商工労政課、政策推進課

**(2) 産建**

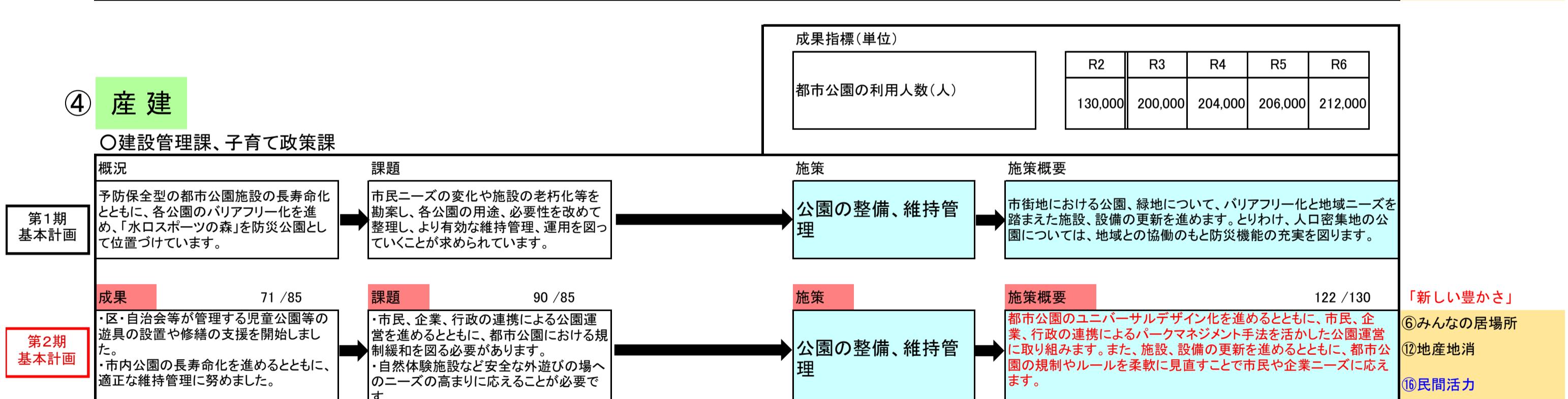
○住宅建築課

**(3) 産建**

○上下水道部

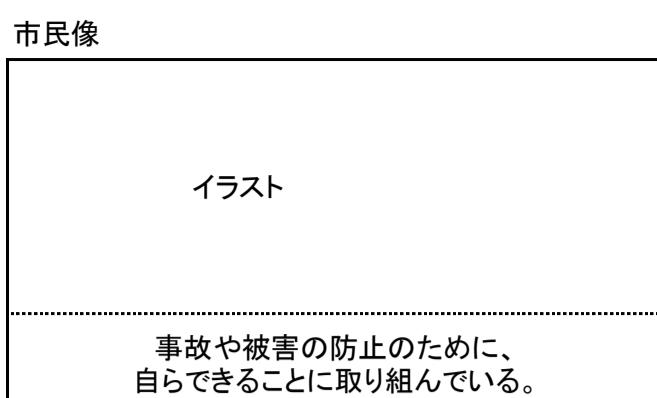
**(4) 産建**

○建設管理課、子育て政策課



関連条例、計画等

甲賀市景観基本計画	甲賀市空き家等対策計画
甲賀市景観計画	甲賀市国土強靭化地域計画
甲賀市公営住宅等長寿命化計画	
甲賀市既存建築物耐震改修促進計画	
甲賀市水道ビジョン	



目標像

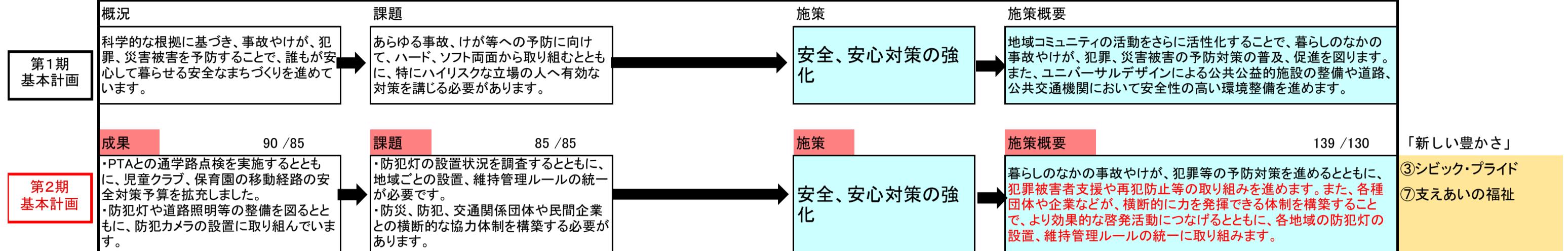
事故やけが、犯罪、災害被害が、地域の総力で予防されている。

成果指標(単位)

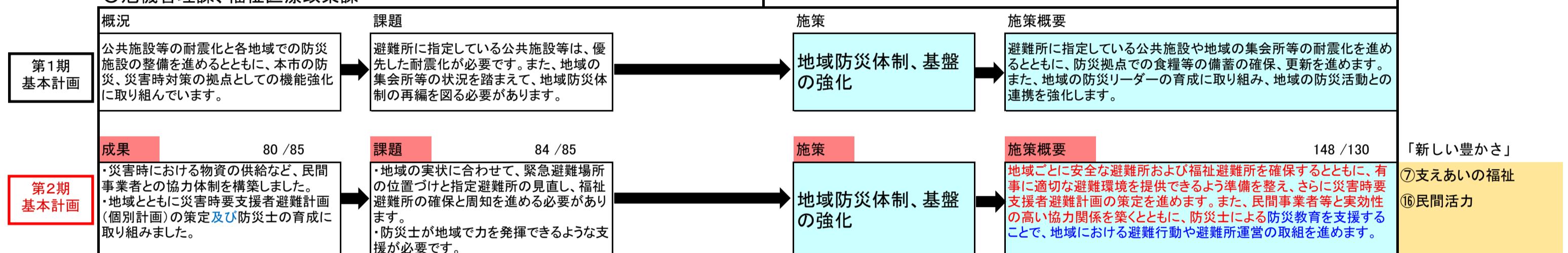
安全、防災に「満足している」「まあ満足している」と答えた人の割合[市民意識調査](%)	H29	H30	H31	R2
目標	36.4	38.0	40.0	42.0
実績	36.4	34.3	38.6	37.1

(1) 厚文

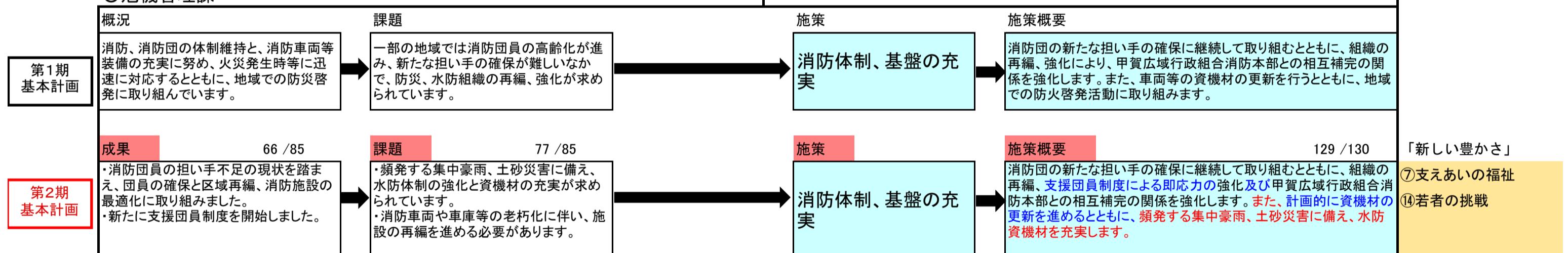
○生活環境課、危機管理課、福祉医療政策課

**(2) 総務**

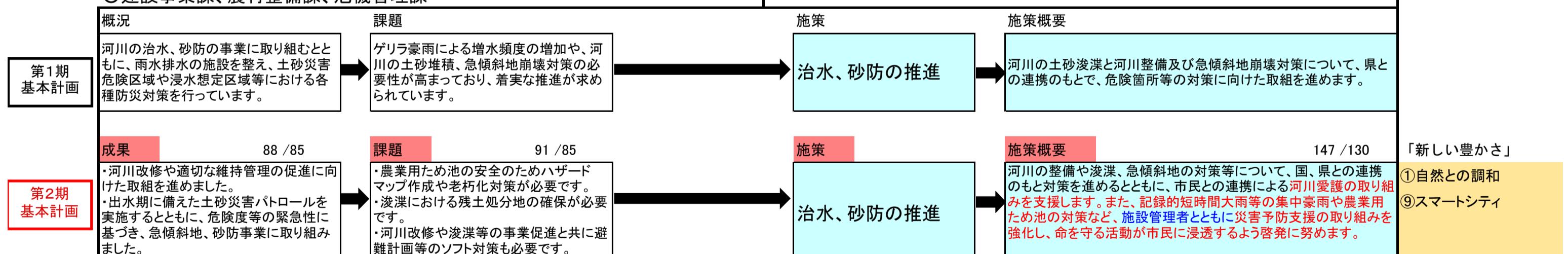
○危機管理課、福祉医療政策課

**(3) 総務**

○危機管理課

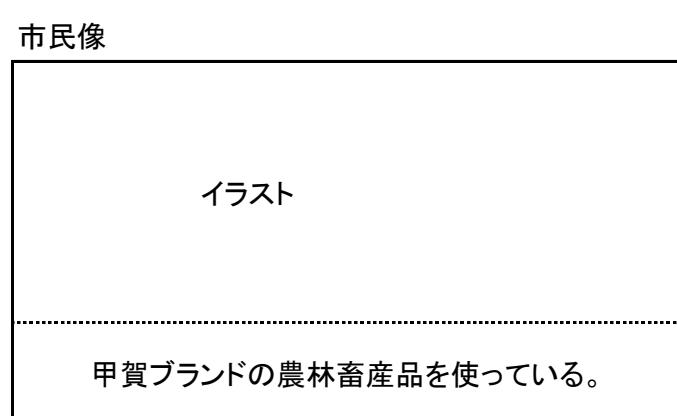
**(4) 産建**

○建設事業課、農村整備課、危機管理課



関連条例、計画等

甲賀市地域防災計画	甲賀市国土強靭化地域計画
甲賀市国民保護計画	
甲賀市既存建築物耐震改修促進計画	
交通安全計画	
甲賀市道路整備基本計画	

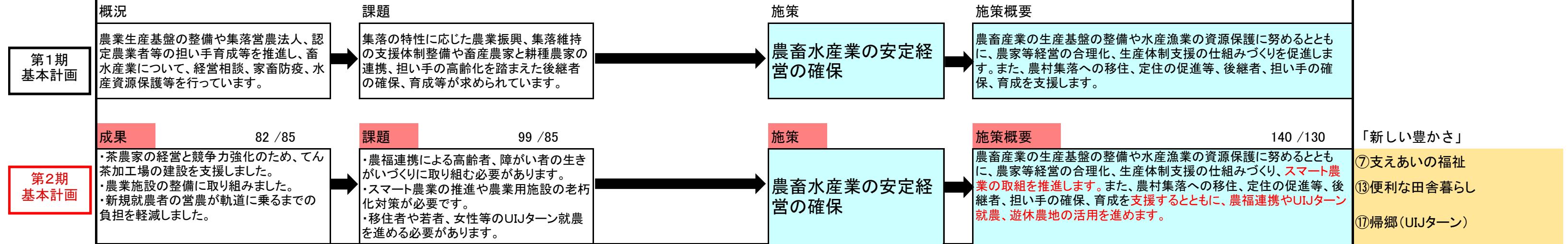


目標像

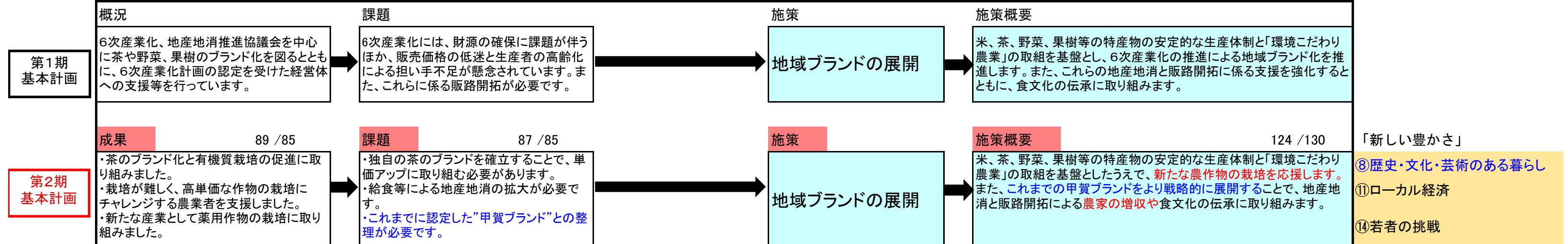
農林畜水産品の付加価値が高まり、域内消費も増えている。				
成果指標(単位)				
農林畜水産業に「満足している」「まあ満足している」と答えた人の割合[市民意識調査](%)				
目標	H29	H30	H31	R2
13.9	18.0	20.0	22.0	
実績	13.9	14.0	16.1	16.5

① 産建

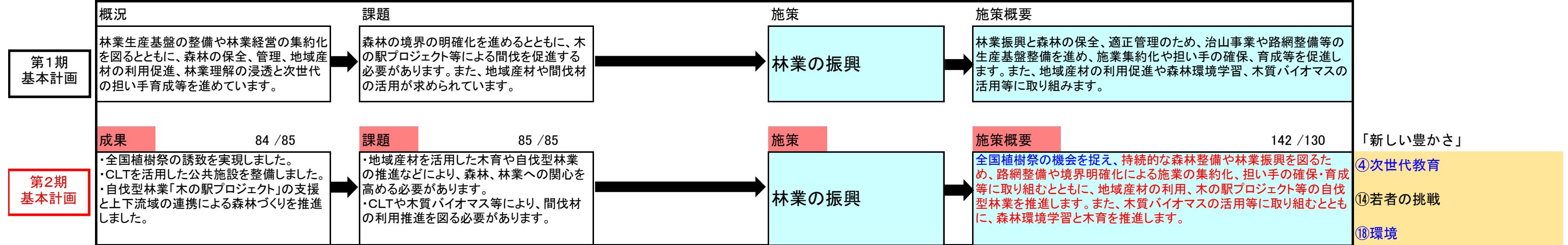
○農業振興課、農村整備課

**② 産建**

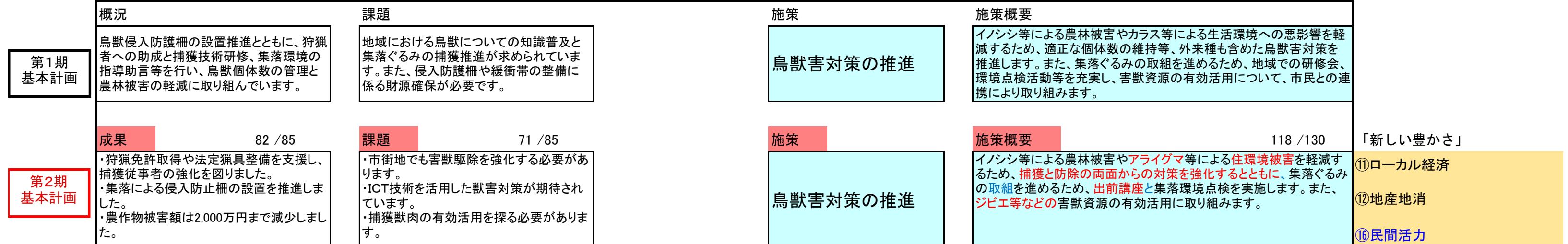
○農業振興課、商工労政課、観光企画推進課

**③ 産建**

○生活環境課、林業振興課

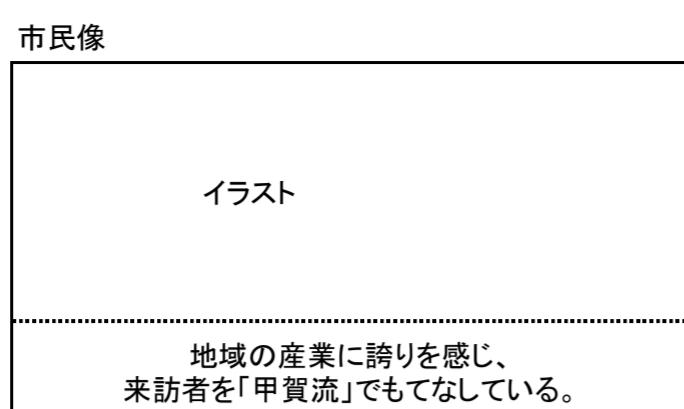
**④ 産建**

○林業振興課



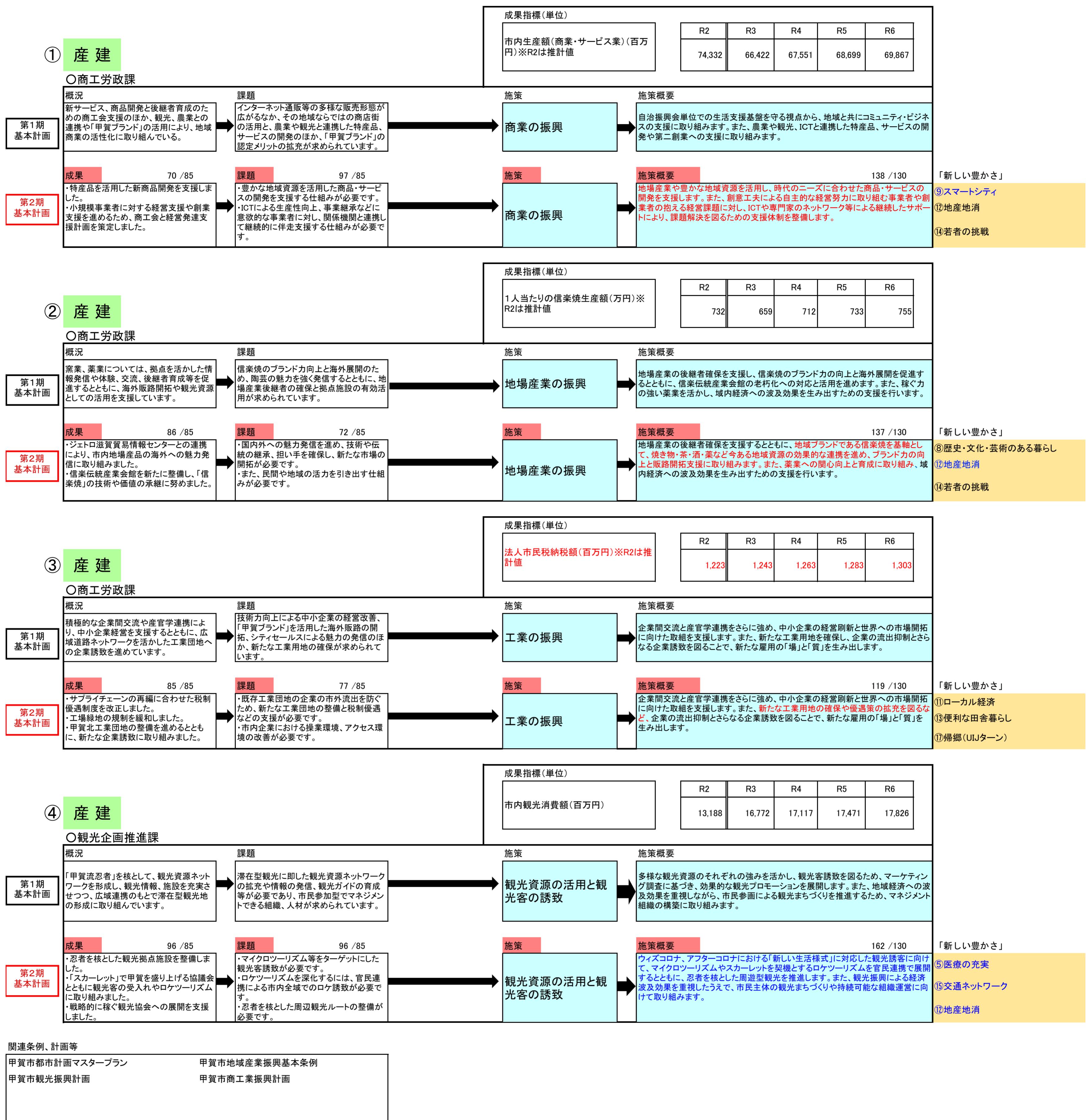
関連条例、計画等

甲賀市地域農業振興計画	甲賀市環境基本計画
甲賀市農村振興基本計画	
甲賀農業振興地域整備計画	
甲賀地域鳥獣害被害防止計画	
甲賀市森林整備計画	



目標像

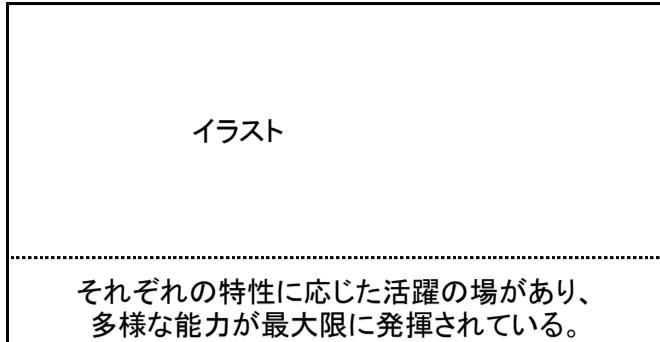
地域経済の好循環が生まれ、域内での消費が高まっている。					
成果指標(単位)					
市内観光消費額(百万円)		H29	H30	H31	R2
目標	16,146	16,367	16,494	16,806	
実績	15,799	15,049			



関連条例、計画等

甲賀市都市計画マスターplan	甲賀市地域産業振興基本条例
甲賀市観光振興計画	甲賀市商工業振興計画

市民像



イラスト

それぞれの特性に応じた活躍の場があり、多様な能力が最大限に発揮されている。

目標像

誰もが自ら望むワーク・ライフ・バランスを選び、若者、女性、高齢者等が地域や職場で活躍している。

成果指標(単位)

市内企業における女性管理職の割合(%)

	H29	H30	H31	R2
目標	11.0	12.0	13.0	14.0
実績	8.8	7.8	8.9	

(1) 産 建

○商工労政課、障がい福祉課、政策推進課、長寿福祉課

第1期
基本計画

概況
就労相談体制の整備や技能取得支援、模擬面接会等の就業支援を行い、人権尊重の職場づくりや公正な採用システムの確立に向けた啓発活動に取り組んでいます。

課題
特に若者、女性、高齢者、障がいのある人、外国人市民の就労支援が求められており、福祉分野を含めた就労関係機関との連携強化等、ワンストップ機能の構築が必要です。

成果指標(単位)

障害福祉サービス事業所から一般就労につながった人数(人)

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	5	7	10	13	16

第2期
基本計画

成果
71 / 85
・若者、女性、障がい者を対象としたJOBフェアを開催し、市内企業への就労を促進しました。
・起業、創業、新事業に挑戦する事業者を支援しました。

課題
・コロナ禍における企業及び求職者、就労困難者のニーズに対応した取り組みが必要です。
・市内学校における「ものづくりキャリア教育」や「起業家精神の醸成」「リカレント教育」の取組が必要です。

施策

就労支援の促進

施策概要

特に若者、女性、高齢者、障がいのある人、外国人市民の就労支援を行うため、行政と就労関係機関との連携を強化し、技能取得支援や相談体制のワンストップ化により、さらなる就労につなげます。また、人権に配慮した職場づくりが行われるよう啓発に努めます。

「新しい豊かさ」
④次世代教育
⑥みんなの居場所
⑯帰郷(UIJターン)

(2) 産 建

○商工労政課

第1期
基本計画

概況
女性が地域や職場で活躍できるよう、就労、起業やキャリアアップ支援を行っています。また、子育て応援と女性の活躍に取り組む団体を支援しています。

課題
地域、事業所における女性の活躍を促すためのポジティブ・アクションや、男女を通じた働き方改革が必要です。特に子育て施設との連携等、総合的な支援が必要です。

第2期
基本計画

成果
66 / 85
・女性の起業・就労やキャリアアップの取組として、チャレンジショップの取組や資格取得を支援しました。
・女性活躍推進室を設置しました。

課題
・企業におけるテレワークやサテライトオフィスを推進するとともに、指導的地位の女性比率の改善が必要です。
・L字カーブの解消に向け、出産後女性の正規雇用対策を進め必要があります。

成果指標(単位)

市内企業における女性管理職の割合(%)

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	8.9	9.8	11	12.4	14

施策

女性の活躍

施策概要

男女が共に働きやすい職場づくり、地域づくりに向けた啓発を行います。また、官民連携による支援の体制強化を進めながら、女性の働く場への参画と能力発揮を促すため、再就職、起業、キャリア形成等を支援します。

「新しい豊かさ」
⑥みんなの居場所
⑯民間活力

(3) 産 建

○商工労政課

第1期
基本計画

概況
勤労者の福利厚生事業を行う団体や、勤労者余暇利用施設での活動に対して、市内企業を通じた支援を行っています。

課題
ライフスタイルの変化や多様化するニーズに合わせ、企業や行政がそれぞれの立場で、役割分担をしながら支援を行う必要があります。

第2期
基本計画

成果
82 / 85
・イクボス宣言を推進し、市内企業の働き方改革やワーク・ライフ・バランスに取り組みました。
・セミナーの開催やアドバイザー派遣等により、女性活躍推進に取り組みました。

課題
・多様化するニーズに合わせ、企業・行政・地域が連携し、市民のワーク・ライフ・バランスのあり方を見直す必要があります。
・テレワークなど新たな働き方に対する支援を行う必要があります。

成果指標(単位)

滋賀県イクボス宣言企業の登録企業数(社)※R2はR1の実績値

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	46	56	61	66	70

施策

勤労者福祉の充実

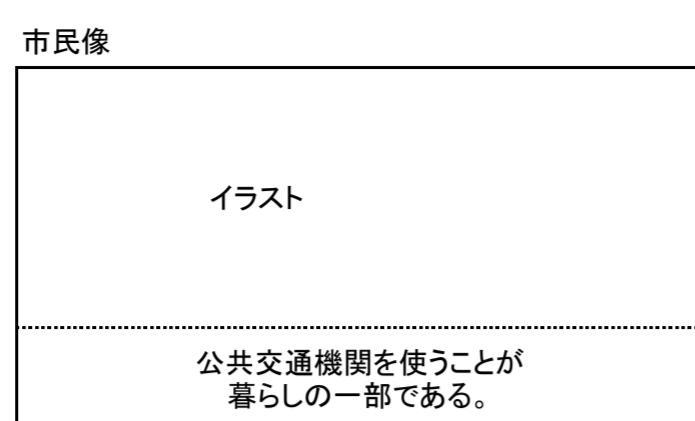
施策概要

企業や行政がそれぞれの役割を明確にしながら、雇用の安定や仕事と生活の調和のとれた環境の整備等、ライフスタイルの変化や多様化するニーズに合わせた勤労者福祉の充実を図ります。

「新しい豊かさ」
⑨スマートシティ
⑬便利な田舎暮らし
⑯民間活力

関連条例、計画等

- 甲賀市就労支援計画
- 甲賀市男女共同参画計画(甲賀市女性活躍推進計画)
- 甲賀市商工業振興計画
- 甲賀市多文化推進計画
- 甲賀市障がい者基本計画
- 甲賀市介護保険事業計画・高齢者福祉計画
- 甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画
- 甲賀市地域産業振興基本条例
- 甲賀市人権尊重のまちづくり条例
- 甲賀市男女共同参画を推進する条例



目標像

広域交通ネットワークや使いやすい地域公共交通が充実している。

成果指標(単位)

JR草津線市内駅の年間乗降客数(万人)	H29	H30	H31	R2
目標	257	259	262	265
実績	254	250	247	

① 産建

○建設事業課

第1期
基本計画

概況
新名神高速道路の整備を契機として、市内幹線道路網の4車線拡幅が完了しました。

成果 94 / 85
・名神名阪連絡道路期成同盟会の会長として、積極的に要望を行い、シンポジウムを開催しました。
・防災や減災、迅速な復旧、復興につながる取組を計画的に進めるため、国土強靭化計画を策定しました。

課題
国道、県道等、残された道路整備事業において、用地確保や財源調達が難航しています。また、名神名阪連絡道路の早期整備やIC周辺の利活用が必要です。

成果指標(単位)

新名神高速道路インターチェンジ利用台数(千台/年)	R2	R3	R4	R5	R6
4,947	4,995	5,043	5,091	5,140	

施策
広域幹線道路の活用促進

施策概要
道路整備基本計画に基づき、高規格道路を活かした広域連携による道路整備に取り組みます。また、国道1号の拡幅や名神名阪連絡道路の整備促進に努め、IC周辺の利活用やSA、PAの課題の整理に取り組みます。

第2期
基本計画

課題
・名神名阪連絡道路の早期実現のため、本道路を活かしたまちづくりビジョンを明確に示し、必要性や優位性を整理する必要があります。
・市内3つのICと土山SA、甲南PAの有効活用を進める必要があります。

施策
広域幹線道路の活用促進

施策概要
道路整備基本計画に基づき、高規格道路を活かした道路整備に取り組みます。また、国道1号の拡幅や名神名阪連絡道路の整備促進を進めるとともに、**新名神高速道路の6車線化を見据えて、工事団地の拡大、IC周辺の利活用、土山SA及び甲南PAの活用策を検討します。**

「新しい豊かさ」
⑪ローカル経済
⑫便利な田舎暮らし

※IC: インターチェンジ、SA: サービスエリア、PA: パーキングエリア

② 産建

○建設事業課

第1期
基本計画

概況
市内の幹線道路については、道路整備基本計画に基づき、優先度を定めたうえで、順次整備を進めています。

成果 88 / 85
・事業効果、財政計画を踏まえた計画的な道路整備を進みました(水口北内貴線、虫生野希望ヶ丘線、北土山猪鼻線、小倉保線、勤旨田代線)
・老朽化した内貴橋の架け替えに取り組みました。

課題
新名神高速道路や幹線道路の整備に伴う、交通形態や交通量の変化に応じた道路整備や、流入抑制等の対策が必要であり、整備に係る優先順位を適時見直す必要があります。

成果指標(単位)

市道(幹線道路網)の整備率(路線)	R2	R3	R4	R5	R6
3	4	4	5	5	

施策
市道(幹線道路網)の整備

施策概要
地域交通や経済、環境等の状況に応じて、効率的な道路整備を進めます。整備に当たっては、地域、民間団体、学識経験者等の意見を踏まえ、客観性や透明性を確保しながら、適切な優先順位をつけて計画的に実施します。

第2期
基本計画

課題
・市内の実情を把握し、甲賀市道路整備基本計画の見直し時には、費用対効果や実現可能性を踏まえた見直しが必要です。
・地域の拠点間を効率的に結ぶ幹線道路網の形成が必要です。

施策
市道(幹線道路網)の整備

施策概要
地域、民間団体、学識経験者等の意見を踏まえ、客観性や透明性を明らかにしたうえで、適切な優先順位をつけて計画的な道路整備を進めます。また、脆弱である南北を結ぶ道路軸を重点的に、地域経済の活性化を図り、地域資源を活かして**産業振興や観光振興を推進します。**

「新しい豊かさ」
⑬自然との調和
⑭民間活力

③ 産建

○建設事業課、建設管理課、住宅建築課

第1期
基本計画

概況
生活道路では、地域の道路を地域で守る意識の醸成が進んでおり、自治振興会や区、自治会の要望や通学路合同点検を受けて、緊急度を勘案した安全確保に取り組んでいます。

成果 99 / 85
・通学路における交通安全の確保を最優先として、通学路合同点検結果を受けて対策を実施しました。
・学校や教育園等の通学、移動経路における安全対策を強化とともに、ロック扉の撤去支援等を進めました。

課題
多くの要望から緊急度、災害対策等の優先度による道路整備を進めるとともに、瑕疵事故を防止するため、適正な維持管理が求められています。

成果指標(単位)

市道における要望の対応率(%)	R2	R3	R4	R5	R6
28.0	31.0	35.0	38.0	42.0	

施策
生活道路等の整備と維持管理

施策概要
生活道路の適正な維持管理を行い、歩道、自転車道等の交通安全施設については、通学路合同点検の結果等を踏まえて、緊急度を勘案しながら計画的に整備します。

第2期
基本計画

課題
・スクールゾーン、キッズゾーンや日常の生活道路の安全対策が必要です。
・瑕疵事故を防止するため、地域の危険個所をICT技術等で速やかに報告できるシステムが必要です。

施策
生活道路等の整備と維持管理

施策概要
生活道路の適正な維持管理を行い、歩道、自転車道等の交通安全施設については、通学路合同点検の結果等を踏まえて、緊急度を勘案しながら計画的に整備します。また、**道路利用者の瑕疵事故等を未然防止できるよう、道路パトロールの強化やICTを活用した通報手段を整備します。**

「新しい豊かさ」
②景観
⑨スマートシティ
⑩環境

④ 産建

○公共交通推進課

第1期
基本計画

概況
鉄道、コミュニティバス、予約型乗合タクシーのそれぞれの利便性の向上を図るとともに、特に高齢者、障がいのある人に対する外出支援やバスの低床化等を進めています。

成果 87 / 85
・土山地域から南草津駅への直通バス実証運行や甲賀病院への直行便を新設しました。
・コミュニティタクシーや、車両のバリアフリー化など利便性向上とともに運行の効率化を図りました。

課題
コミュニティバスの効率性を高め、利便性と経済性を見極めたダイヤ、路線へと再編する必要があります。また、利用しやすい鉄道施設となるための取組が必要です。

成果指標(単位)

コミュニティバス・コミタクの利用者数(万人)	R2	R3	R4	R5	R6
50	55	55	58	60	

施策
公共交通機関の利便性の向上

施策概要
鉄道、コミュニティバス、予約型乗合タクシー等の公共交通機関の最適化を図るとともに、通勤、通学だけでなく観光等にも利用できる運行形態として、利用者増加を図ります。また、市が保有する鉄道施設の適正な維持管理と利便性の向上に取り組みます。

第2期
基本計画

課題
・新型コロナの影響による需要構造の変化や少子化により、利用者の減少が想定されます。
・高齢化等により多様化するニーズに対応し、地域交通を維持していくには抜本的な改善が必要です。

施策
地域公共交通網の再編と利便性向上

施策概要
コミュニティバス、予約型乗合タクシーだけでなく、地域住民が主体的に取り組む自走運行を支援することで、地域の輸送資源を最大限に活かす公共交通の最適化に取り組みます。また、地域の状況に合わせて、ICT技術を活用した利便性の向上に取り組むなど、持続可能な交通網への再編を進めます。

「新しい豊かさ」
⑦支えあいの福祉
⑨スマートシティ
⑩民間活力

⑤ 産建

○公共交通推進課

第1期
基本計画

概況
JR草津線の早期複線化とびわこ京阪奈線(仮称)の実現に向けて、県と沿線市町で協同同盟会を設置し、活動を展開しています。

成果 88 / 85
・甲南駅舎やアクセス道路の整備を進めました。
・関係機関との勉強会を新設し、JR草津線の利便性向上に取り組みました。
・近江鉄道存続のため、運営改善の検討を関係市町と進めました。

課題
JR草津線のダイヤ改めや早期複線化に向けて、対象路線の利用者増加が不可欠です。また、自家用車から電車への利用転換を促進していくことが求められています。

成果指標(単位)

JR草津線市内駅の年間乗客数(万人)	R2	R3	R4	R5	R6
146	171	240	244	244	

施策
鉄道整備の推進

施策概要
JR草津線の利便性向上のため、駅周辺における都市機能及び居住の誘導と自家用車からの利用転換を進め、利用者の増加に取り組みます。また、信楽高原鐵道の整備構想に係る区間の拡大に向けて、関係団体と協調した取組を進めます。

第2期
基本計画

課題
・リニア新幹線の開通等、社会情勢の大きな変化を見据え、市内外の移動を支える鉄道の維持・発展が必要です。
・新型コロナの影響による需要構造の変化に応じた利用促進策が必要です。

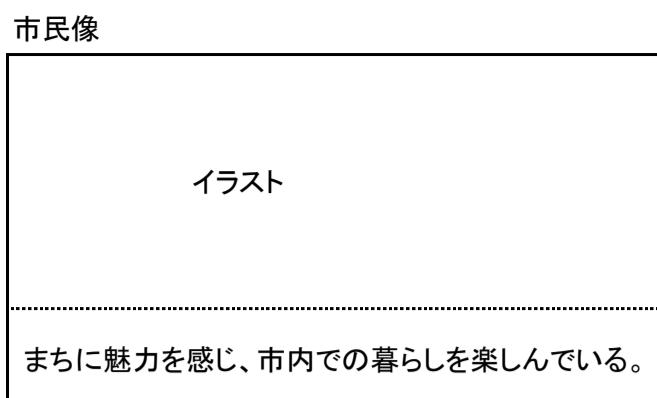
施策
鉄道利用環境の改善・整備の推進

施策概要
JR草津線の利便性向上のため、駅周辺における都市機能及び居住の誘導や近江鉄道、信楽高原鐵道、コミバス等の2次交通の利便性を高める上で、JR草津線利用者の増加につなげます。また、レンタサイクルなどの観光地までのアクセス性を強化することで、観光客の利用を促進します。

「新しい豊かさ」
④次世代教育
⑨スマートシティ
⑪便利な田舎暮らし

関連条例、計画等

甲賀市地域公共交通網形成計画
甲賀市公共交通活性化によるまちづくり推進計画
甲賀市橋梁長寿命化修繕計画
甲賀市道路整備基本計画
甲賀市都市計画マスターplan



目標像

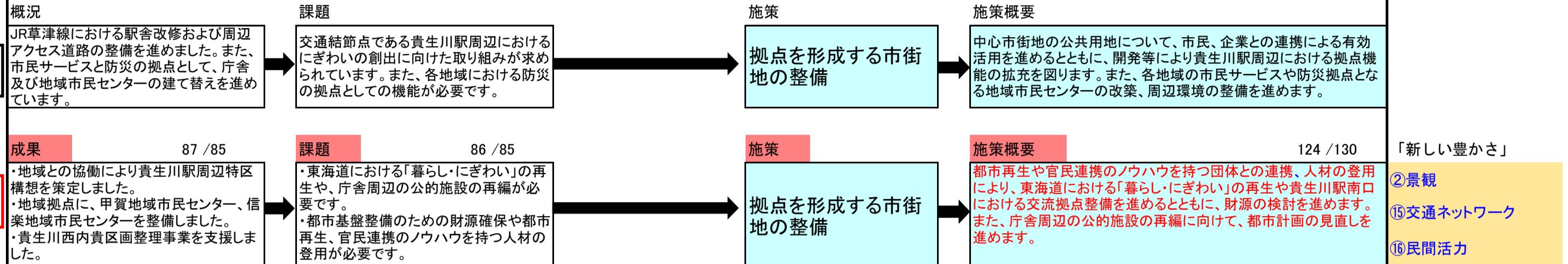
恵まれた交通アクセスを活かした土地利用によって、「ひと」と「もの」の新しい流れが生まれている。

成果指標(単位)

社会動態 転入、転出者数の差(人/年)	H29	H30	H31	R2
目標	-248	-220	-190	-160
実績	-248	-11	-156	

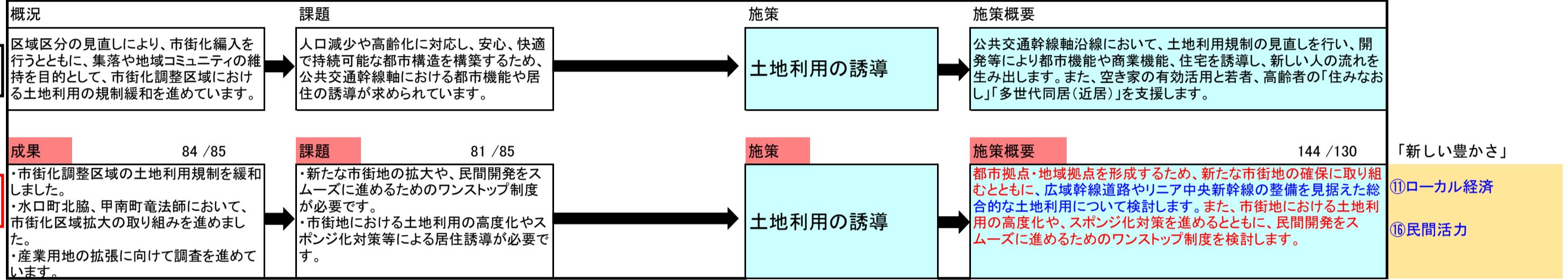
① 産 建

○都市計画課、税務課、政策推進課

第1期
基本計画

② 産 建

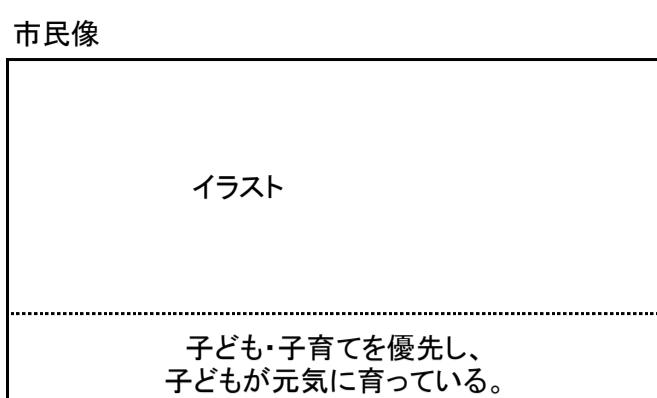
○都市計画課

第1期
基本計画第2期
基本計画

関連条例、計画等

甲賀市都市計画マスタープラン

甲賀市国土利用計画



目標像	子ども、子育てにみんなが参加し、応援している。																			
成果指標(単位)																				
合計特殊出生率(人)	<table border="1"> <tr> <td>H29(H27)</td><td>H30(H28)</td><td>H31(H29)</td><td>R2(H30)</td><td></td></tr> <tr> <td>目標</td><td>1.50</td><td>1.58</td><td>1.60</td><td>1.64</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>1.50</td><td>1.39</td><td>1.44</td><td>1.45</td></tr> </table>				H29(H27)	H30(H28)	H31(H29)	R2(H30)		目標	1.50	1.58	1.60	1.64	実績	1.50	1.39	1.44	1.45	
H29(H27)	H30(H28)	H31(H29)	R2(H30)																	
目標	1.50	1.58	1.60	1.64																
実績	1.50	1.39	1.44	1.45																

(1) 厚文

○発達支援課、すこやか支援課、子育て政策課、政策推進課

第1期
基本計画第2期
基本計画

概況	課題	施策	施策概要	「新しい豊かさ」
子育て講座の開催や情報提供、相談への対応と合わせて、乳幼児健診や福祉医療費の助成、不妊、不育治療への支援を行っています。	妊娠、出産期から子育て期まで切れ目のない支援が求められています。また、様々な課題を抱える家庭に、個別に対応できる支援が求められています。	産前産後、乳幼児期の安心の確保	子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠、出産期から乳幼児の発育、発達等の総合的な支援を行います。特に支援の必要な妊婦、ひとり親家庭や外国人の家庭等、育児に特別な課題のある家庭への支援の充実を図ります。また、児童の発達について継続的な支援を行います。	⑥みんなの居場所 ⑬便利な田舎暮らし ⑭若者の挑戦
成果 91 / 85 ・妊婦健康診査の助成額を拡充しました。 ・特定不妊治療、一般不妊治療、不育症、に対する支援を拡充しました。 ・児童発達支援センターを整備し、療育指導と保護者の育児支援を強化しました。	課題 99 / 85 ・ひとり親家庭への支援拡充や外国人が安心して子育てできる環境整備が必要です。 ・結婚支援は他市町との広域連携などへの展開が必要です。 ・障がい、高齢、困難等の制度を超えた一的な支援体制が必要です。	施策 産前産後、乳幼児期の安心の確保	施策概要 141 / 130 子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠、出産期から乳幼児の発育、発達等の総合的で継続的な支援を行います。特に支援の必要な妊産婦、ひとり親家庭や外国人の家庭等、育児に特別な課題や複合的な課題を抱える家庭への支援を充実します。また、県内他市町との広域連携による結婚支援に取り組みます。	

(2) 厚文

○保育幼稚園課

第1期
基本計画第2期
基本計画

概況	課題	施策	施策概要	「新しい豊かさ」
認定こども園の開設や休日保育、延長保育、一時預かり保育等の保育サービスの充実や、待機児童ゼロ対策等、保育の量的拡大に向けて取り組んでいます。	課題 低年齢児保育の量的確保や、病児保育等の多様化するニーズへの対応等が必要です。また、老朽化した施設の修繕等、保育の質と安全に係る取組が求められています。	施策 就学前教育、保育の充実	施策概要 多様化する教育、保育ニーズに対応できる施設を整備するとともに、保育サービスを充実します。また、老朽化した園の計画的な改修等と地域ぐるみで保育の「質」の向上を図るとともに、保育士確保の取組を強化します。	④次世代教育 ⑩スマート自治体 ⑯民間活力
成果 98 / 85 ・保育園の待機児童数が減少しました。 ・公立保育園の整備を進めるとともに、民間による地域型保育事業所を開設しました。 ・保育人材の確保のため、保育士の負担軽減や就職一時金の給付等に取り組みました。	課題 88 / 85 ・保育人材を大切にし、負担軽減を取り組むことで人材確保を進めます。 ・多様な保育ニーズへ応えるため、制度運用の柔軟な見直しが必要です。 ・病児保育の取組を進める必要があります。	施策 就学前教育、保育の充実	施策概要 119 / 130 多様化する教育、保育ニーズに対応できる施設の整備や老朽化した園の計画的な改修を進めるとともに、柔軟な制度運用により、保育サービスの充実に取り組みます。また、保育士の負担軽減等による人材確保を進めるとともに、保育の「質」の向上に取り組みます。	

(3) 厚文

○子育て政策課

第1期
基本計画第2期
基本計画

概況	課題	施策	施策概要	「新しい豊かさ」
児童クラブは、概ね小学校区単位での設置と運営を行い、現在待機児童はない状況となっています。また、ファミリーサポートセンター事業は中学2年生までを対象に実施しています。	課題 保護者のニーズに応じて、児童クラブの受入れ児童数を見直すとともに、ファミリーサポートセンターを広く周知する必要があります。また、子育て短期支援事業では受入れ先の拡充が必要です。	施策 放課後の児童対策の充実	施策概要 放課後児童クラブでは、法人等への指定管理委託を継続し、個々の児童の状況に応じた適切な指導ができるよう指導員のスキルアップを支援します。また、ファミリーサポートセンターでは、地域による相互援助を支援します。	⑥みんなの居場所 ⑬便利な田舎暮らし ⑯民間活力
成果 79 / 85 ・放課後児童クラブの整備を進めるとともに、民設民営の児童クラブの整備など、多様な保育環境の充実に取り組みました。 ・児童クラブの待機児童はゼロとなっています。	課題 90 / 85 ・放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な運用が求められています。 ・学校の空き教室等を活用した子どもの居場所づくりが必要です。 ・民設民営児童クラブのさらなる拡充が必要です。	施策 放課後の児童対策の充実	施策概要 142 / 130 放課後児童クラブでは、法人等への指定管理委託を継続し、個々の児童の状況に応じた適切な指導ができるよう指導員のスキルアップを支援します。また、小学校校舎等を活用した児童クラブの開設や子どもの居場所づくりに取り組みます。ファミリーサポートセンターにおいて、地域による相互援助を支援します。	

(4) 厚文

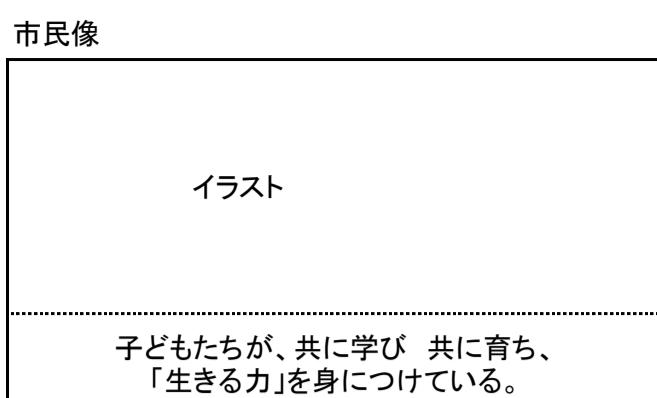
○子育て政策課

第1期
基本計画第2期
基本計画

概況	課題	施策	施策概要	「新しい豊かさ」
子育て支援センターを拠点として、交流の場の提供や支援を行い、子育てコンシェルジュによる相談体制を充実しました。また、子ども・子育て応援団ネットワークの形成や関係団体への支援を行っています。	課題 地域で孤立する家庭への支援や子育ての悩み、不安を身近に相談できる体制の充実、必要な情報の提供と適切な支援が得られる環境の充実が求められています。	施策 地域の子育て力の向上	施策概要 妊娠期から出産、子育て期までの切れ目のない子育てを支えるネットワークを充実させるとともに、気軽に相談できる体制を整備します。また、子育てに関する相談内容の多様化、深刻化に対応できるよう地域との連携強化と保護を要する児童等への支援の充実を図ります。	⑥みんなの居場所 ⑦支えあいの福祉 ⑯民間活力
成果 88 / 85 ・室内多目的広場併設の「子育て世代包括支援センター」を開設しました。 ・市内18箇所の子ども食堂の運営を支援しました。 ・総合的な子育て支援のため、こども政策部を創設しました。	課題 92 / 85 ・地域、企業との連携による子どもの遊び場や子育て応援ネットワークが必要です。 ・子育て支援センターと保健センターの一体的運用が必要です。 ・児童虐待とDVへの包括的支援体制が必要です。	施策 地域の子育て力の向上	施策概要 147 / 130 妊娠期から出産、子育て期までの切れ目のない子育てを支える企業とのネットワークや子ども食堂への支援など、気軽に相談できる体制を整備します。また、子育てに関する相談内容の多様化、深刻化に対応するとともに、地域との連携強化や保護を要する児童等への支援を充実するため、包括的な相談、支援体制を整えます。	

関連条例、計画等

甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画	甲賀市教育大綱
甲賀市幼保・小中学校再編計画	
甲賀市地域福祉計画	
甲賀市教育振興基本計画	
甲賀市配偶者からの暴力の防止および被害者の保護等に関する基本計画	



目標像

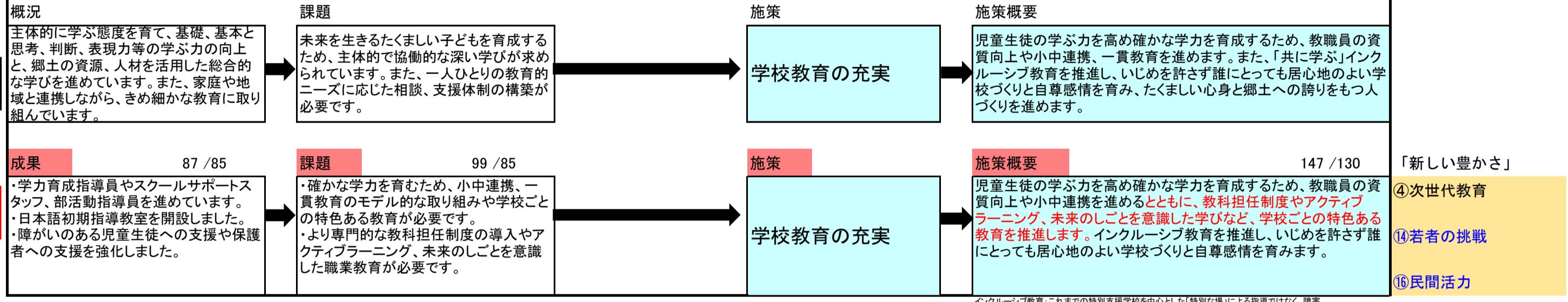
地域の人々とふれあうことで、豊かな心、学ぶ力、健やかな体の調和がとれた「生きる力」を身につけている。

成果指標(単位)

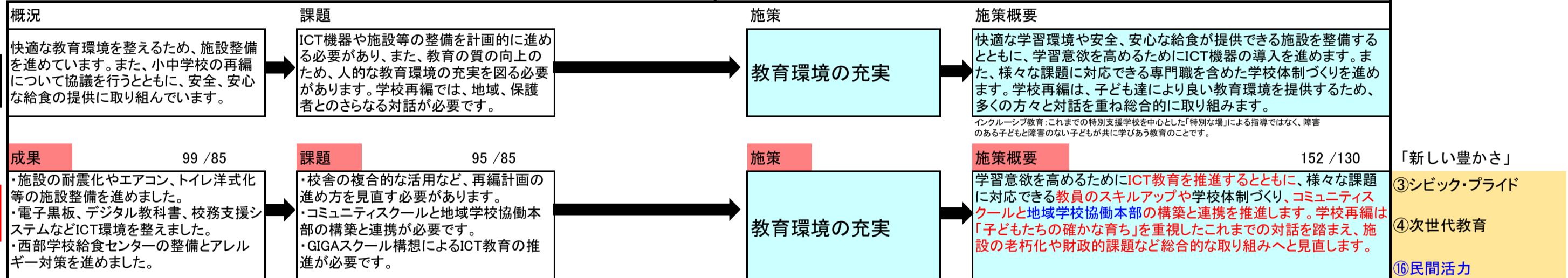
学校教育に「満足している」「まあ満足している」と答えた人の割合[市民意識調査](%)	H29	H30	H31	R2
目標	21.8	23.0	24.0	25.0
実績	21.8	22.9	23.6	24.7

(1) 厚文

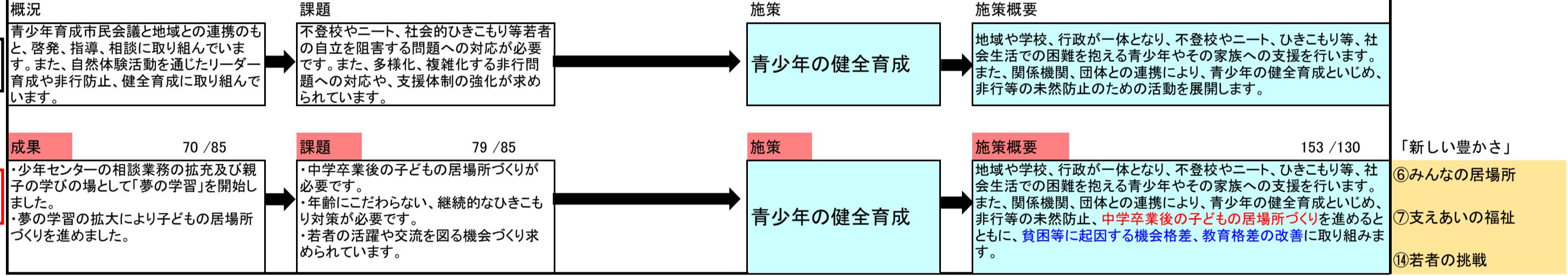
○学校教育課

第1期
基本計画**(2) 厚文**

○教育総務課

第1期
基本計画**(3) 厚文**

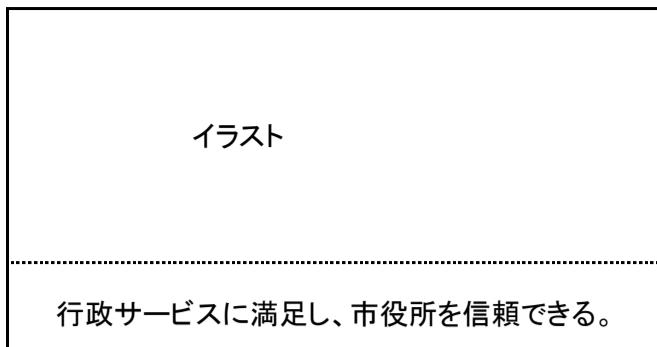
○生活支援課、学校教育課、社会教育スポーツ課、総務課

第1期
基本計画

関連条例、計画等

- 甲賀市教育振興基本計画
- 甲賀市幼保・小中学校再編計画
- 甲賀市いじめ防止基本方針
- 甲賀市青少年自然体験活動振興計画
- 甲賀市教育大綱

市民像



目標像

成果を重視した質の高い行政経営を行っている。

成果指標(単位)

行財政運営に「満足している」「まあ満足している」「どちらともいえない」と答えた人の割合[市民意識調査](%)

	H29	H30	H31	R2
目標	51.9	60.0	68.0	76.0
実績	51.9	51.2	52.1	54.7

(1) 総務

○人事課

第1期
基本計画

概況
職員の専門性向上のため、職階・所属別の研修や外部研修を実施しています。また、社会福祉士や保健師等の専門職員や社会人経験者の積極的な雇用を進めています。

課題
相談業務における一般行政職員の対応力の一層の向上と相談専門職の確保が必要です。今後、再任用職員の増加が見込まれ、適切な職務配分や職員配置が求められています。

成果指標(単位)

知識やスキルの習得など、自己能力の開発(スキルアップ)に積極的に取り組んでいる職員の割合(%)

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	30	40.0	55.0	60.0	70.0

第2期
基本計画

成果
88 / 85
・職員の人材確保・育成プログラム、研修の充実を進めました。
・多様な経験や知識をもつ社会人経験者の採用などダイバーシティを重視した人材確保、職員提案のCFT等に取り組みました。

課題
・職員のコンプライアンス意識の醸成と積極的にスキルアップに取り組むなどの人材育成が必要です。
・地域活動や市民活動を応援し、共に取り組む職員の育成が必要です。

施策

職員力の向上

施策概要

職員の政策形成能力、専門的な知識の向上に努めるとともに、計画的な職員採用や専門職員の確保に取り組みます。また、職員の地域活動への参画を促進し、活動のなかで得た知識と経験をもって、より市民満足度の高い行政運営につなげます。

「新しい豊かさ」
③シビック・プライド
⑩スマート自治体
⑯民間活力

(2) 総務

○情報政策課(ICT)、市民課

第1期
基本計画

概況
市民満足度の向上に向け、窓口業務やコンビニ交付の充実、緊急情報システムの導入、指定管理者制度の推進等に取り組んでいます。

課題
経済性、効率性、有効性の面から、公共施設の運用だけでなく、事務や窓口業務そのものにおいて、さらに民間活力の導入を進める必要があります。

成果指標(単位)

オンライン利用手続き数(件)

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	12	50	120	160	200

第2期
基本計画

成果
86 / 85
・日直、市民窓口、給与算定などのアウトソーシングやAIによる会議録作成などを進めました。
・ICT推進室を設置し、コムバスの運行案内や施設予約のオンライン化等を進めました。

課題
・ICTによる行政事務の効率化による事務コストの削減が必要です。
・オンライン利用が可能な手続きの充実、システム対応などデジタル化を推進するための環境整備が必要です。

施策

行政事務の効率化

施策概要

法令遵守、個人情報の保護等、適正な事務執行に努めるとともに、行政サービスの利便性と効率性、公平性を見極めたうえで、様々な事務や窓口業務へ民間活力を導入します。また、公共施設の建設についても、官民合築や民間活力の利用を推進します。

「新しい豊かさ」
⑦支えあいの福祉
⑨スマートシティ
⑯民間活力

(3) 総務

○財政課(マネジメント)、管財課

第1期
基本計画

概況
行政改革推進計画に基づき、行財政経営の効率化、健全化を推進し、一定の効果が得られています。公共施設等の総合的かつ計画的な管理に取り組んでいます。

課題
厳しい財政状況が続いていること、事業の見直し、歳出削減、職員定員適正化等の財政健全化に向けた継続的な取組が求められます。

成果指標(単位)

公共施設維持管理経費の削減(%)

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	-1	-2	-3	-4	-5

第2期
基本計画

成果
99 / 85
・将来を見据え、必要な施設の整備・更新、長寿命化に取り組むとともに、不要な財産の売却や空き公共施設の民間活用を進めました。
・各地域の中核の市民センターを複合化し、拠点としての機能強化を図りました。

課題
・サービスの維持に向けて、施設の統廃合に加え、財源確保や管理運営の効率化が必要です。
・市民・地域の課題は複雑化、重層化しつつあり、従来の市民センターのあり方を見直す必要性が高まっています。

施策

適正な財産管理と持続可能な財政運営

施策概要

市有財産の適正管理、新たな行政財政マネジメントの導入等の財政改革に取り組むとともに、選択と集中による着実な行政効果を重視した市政運営を行います。また、合併特例期間の終了を見据え、新たな発想による財源確保プログラムを構築します。

「新しい豊かさ」
⑩スマート自治体
⑬便利な田舎暮らし
⑯民間活力

(4) 総務

○財政課、税務課

第2期
基本計画

成果
83 / 85
・コロナ禍の影響を受けた市民、法人に税猶予、減免等、柔軟な対応をしていました。
・中長期財政計画を策定し、部局別枠配分予算による自律的・効率的な財政運営を進めています。

課題
・さらに厳しい財政状況を迎えるなか、安定した財政運営と新たな財源確保が必要です。
・通常収支不足の解消とともに、全市的な未収金対策の取り組みが求められています。

成果指標(単位)

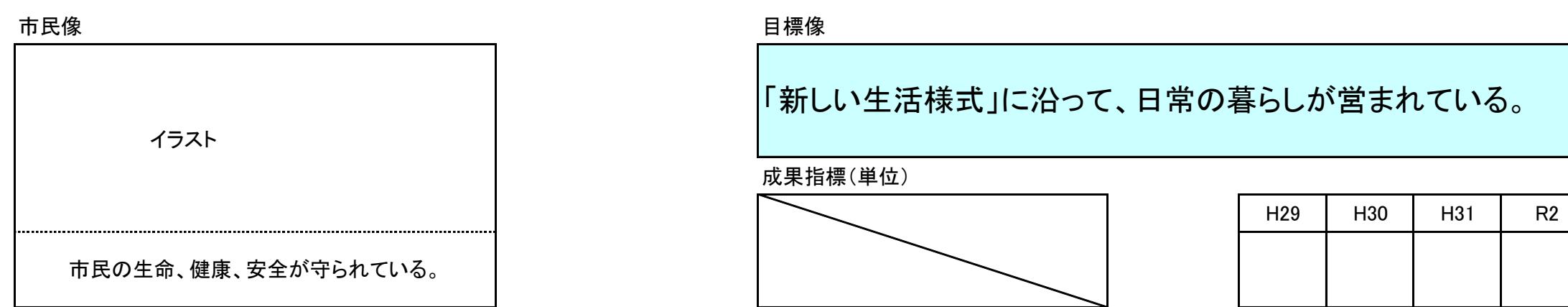
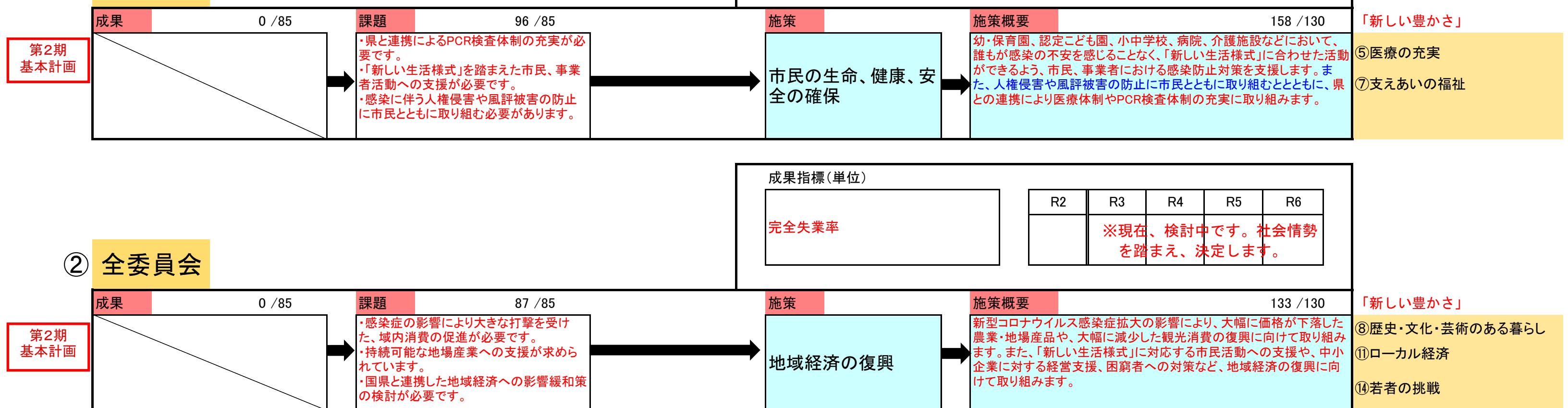
将来負担比率(%)

	R2	R3	R4	R5	R6
目標	73.8	70.7	68.3	63.2	53.6
推計					

「新しい豊かさ」
⑩スマート自治体
⑯民間活力

関連条例、計画等

甲賀市行政改革大綱	甲賀市補助金の適正化に関する指針
甲賀市行政改革推進計画	甲賀市定員適正化計画
甲賀市アウトソーシング推進指針	甲賀市公共施設等総合管理計画
甲賀市税・料金等収納向上対策強化計画	
甲賀市人材育成基本方針	

**① 全委員会****「新しい豊かさ」**

- ⑤医療の充実
- ⑦支えあいの福祉

「新しい豊かさ」

- ⑧歴史・文化・芸術のある暮らし
- ⑪ローカル経済
- ⑭若者の挑戦